

<2019年度>
第5回 理事会議案書

2019年 9月19日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2019年度 第5回理事会 議事次第

一般社団法人 全国鐵構工業協会

場 所： 鉄鋼会館 805号室

日 時： 2019年9月19日（木）
12:00～14:30

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告（定款第36条）

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 報告事項

- (1) 賛助会員との懇談会実施要領 ----- [理19-5-報1] [別紙] 【抜粋】
- (2) 青年部会各県代表者との意見交換会実施要領 ----- [理19-5-報2] [別紙] 【抜粋】
- (3) 鉄建協との共同陳情実施報告----- [理19-5-報3] <p3-14>
- (4) NDI-UT<レベル1>資格取得支援講習会実施案 ----- [理19-5-報4] <p15>
- (5) ワーキンググループ(WG)の新規設置について ----- [理19-5-報5] <p16>
- (6) 委員会等報告 ①運営委員会 ----- [理19-5-報6①] <p17>
 ②技術委員会 ----- [理19-5-報6②] [口頭]
 ③品質管理委員会 ----- [理19-5-報6③] <p18>
 ④クレーン免許対応WG ----- [理19-5-報6④] <p19-20>
 ⑤特定技能外国人受入検討WG ----- [理19-5-報6⑤] [口頭]
 ⑥女性活躍促進検討WG ----- [理19-5-報6⑥] <p21>

(7) その他

6. その他の事項

- (1) 構成員登録状況 ----- [理19-5-他1] <p22-26>
- (2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理19-5-他2] <p27>
- (3) 主要会議日程 ----- [理19-5-他3] <p28>
- (4) 支部報告 ----- [理19-5-他4] <p29-46>
- (5) その他

7. 閉会の辞

以上

報 告 事 項

2019年度 陳情活動について

業界の状況・実態について、設計会社・ゼネコン・高炉メーカー 各社にご理解、ご協力を頂くべく、(一社)鉄骨建設業協会と共同で、陳情活動を実施した。内容は下記の通りです。

[記]

1. 実施日程

- ・2019年7月17日（水）～8月 7日（水） 【東京地区】
- ・2019年7月30日（月）～8月 5日（月） 【大阪地区】

2. 陳情先

[設計事務所] 日本設計、三菱地所設計、梓、山下、松田平田、日建東京、久米設計、NTT ファシリティ、日建大阪、安井大阪

[ゼネコン] 大林（東京、大阪）、大成（東京）、竹中（東京、大阪）、清水（東京、大阪）、鹿島（東京、大阪）、戸田（東京）
前田建設、東急建設、西松建設、奥村（大阪）、錢高組（大阪）

[ゼネコン団体] 日本建設業連合会、全国建設業協会

[高炉メーカー] 日本製鉄、JFE スチール、神戸製鋼所

[他団体] 日本建築構造技術者協会（JSCA）

3. 陳情メンバー

[全構協] 米森会長、村山副会長、永井副会長、高橋副会長、事務局（辰巳専務他4名）

[鉄建協] 田中会長、深澤副会長 以下 理事、運営委員、事務局

4. 陳情項目（内容）

別紙

以上

2019年度 陳情項目(内容)

対2018年度変化

<ゼネコン及びゼネコン団体>

- | | |
|---|--|
| <p>1. 契約時工期・工程の厳守</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 鉄骨製作工程表の合意と厳守について ② 設計図書の精度向上について ③ 関連情報の早期確定について ④ 主構造体の早期材料手配、早期工場製作着手への協力について ⑤ 働き方改革への対応について <p>2. 製品輸送に関わる諸問題の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 製品搬入日程の早期確定と厳守について ② 待機場所の確保について ③ 予定通りの荷取りと車両解放について <p>3. 高力ボルト調達難に関する理解</p> <p>4. 追加変更工事の書面による適切な指示と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 協議合意による書面での指示について ② 月毎の早期精算及び適切な評価(現場常備工事は必ず精算)について ③ 本体工事後の後施工や独立附帯の施工について <p>5. 鋼材費、副資材費、物流費、現場労務単価等の変動に伴う適切な精算</p> <p>6. 鋼板の有効活用のためのミルシート表記</p> | <input type="radio"/> 前年有
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/> 個別追加
<input type="radio"/> ☆新規 |
|---|--|

<設計事務所及びJSCA>

- | | |
|--|--|
| <p>1. 製作工期・工程の厳守に向けたお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 鉄骨製作工程表の合意と厳守について ② 設計図書の精度・整合性の確保と速やかな質疑回答について ③ 工作図確定に向けた関連情報の早期確定について ④ 主構造体の早期材料手配、早期工場製作着手への協力について ⑤ 働き方改革を意識した工期設定について <p>2. 高力ボルト調達難に関する理解</p> <p>3. 鋼板の有効活用のためのミルシート表記</p> <p>4. 施工試験の負担軽減</p> | <input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/> ☆新規 |
|--|--|

<鋼材メーカー>

- | | |
|--|--|
| <p>1. 鋼材供給の円滑化(納期厳守)</p> <p>2. 鋼材の安定価格での供給</p> | <input type="radio"/>
<input type="radio"/> |
|--|--|

以上

2019年度 陳情実施状況（要点・トピックス）

陳情先	回答内容等
設計事務所 (JSCA)	<p><要望内容></p> <p>1. 製作工期・工程の厳守に向けたお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨製作工程表の合意と厳守について ・設計図書の精度・整合性の確保と速やかな質疑回答について ・工作図確定に向けた関連情報の早期確定について ・主構造体の早期材料手配、早期工場製作着手への協力について ・働き方改革を意識した工期設定について <p>2. 高力ボルト調達難に関する理解</p> <p>3. 鋼板の有効活用のためのミルシート表記</p> <p>4. 施工試験の負担軽減</p> <p><製作工期・工程の厳守に向けたお願い></p> <p>・工程表はゼネコンの責任。設計事務所に押印しろというのは無理なことかも。この工程に向かって行こうということはみな同じ。形式的な印となると抵抗ある。</p> <p>・どうやったら変更しないでいけるのか社内でも検討している。うまくいっている現場の例も聞きたい。あとはBIM、タイムリーに変更できるようにしていくが、眼目は変更ないように設計するということだ。</p> <p>・整合性のある図面は設計者の責任、BIMとかお客さんに3次元で示す（2次元の図では分からぬ）とか努力している。だがまだ2~3年かかる。一方でぎりぎりまでいいものを作りたい、できていないものは変えられるという意識もある。</p> <p>・ファブに無理をかけていることを設計者にもお客さんにも伝えなければならない。</p> <p>・マスター工程表を見たことはあるが、押印まで求められたことはないようだ。</p> <p>全物件で押印まで求めるのか？</p> <p>・単に完成後の形状を図面にするだけでなく、製作のことを考え、設計不能・検査不能な図面にならないよう心掛けているが、実態は製作工程（製作可否）まで気が回らないのは事実である。製作に係る知識が乏しいからであり、事前にファブに相談すれば良いのだろうが、守秘義務があるので発注前に図面を見せる訳にはいかず、相談ができない。</p> <p>・工程表の管理・合意の重要性は認識しているが、こういう鉄骨だけを抜き出した工程表については、あまり認識していない。設計事務所、ゼネコン、ファブの連携が重要。ダイレクトの打合せが少なくなっている事もあり、情報の共有が大切。</p> <p>・色々な事情もあり工程の決定が遅れる事もあると思うが、工程スケジュールは管理の共通情報だから、それがないというのはおかしい。設計事務所の業務には、設計サイドと管理サイドがある。管理サイドから言えば、工程管理も当然の業務であり、情報の共有化は必要。一方で、施主からの要望もあり、工程が守れない原因を作っているという立場もある。</p> <p>・ハンコがもらえないといったハンコのあるなしではない。工程表はそれをもとに関係者が会話をする材料だ。</p> <p>・最近はファブさんが繁忙でこれでないとできませんよと言われ、合わせている。</p> <p>・今の施主の要求の中心は、コストより工期、工期が早いと評価される傾向あり。</p>

設計事務所	<p>・いつも出ている話だが工程表はゼネコンさんの主要事項であって設計者はあまり関与しない。もっともな要望と思うがゼネコンに言って欲しい。はんこを止めているつもりはない。こちらから工期を修正して言うとその余裕がないと返される。図面の承認をどこでだれがするのかはっきりしないとだめ。この部分を承認してほしいとはっきりしないと。</p> <p>(ファブ) 図面の手戻りがあると、これまで残業で対応していたが、働き方改革の中で、今後は対応が困難になるので、設計会社、ゼネコンの、精度の高い図面提供に対する期待は高まる。</p> <p><働き方改革対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計事務所としては、ゼネコンから現場毎に、休みの予定を反映したコストも提示されているが、ファブのコストがどこまで反映されているのか、そこは分からぬ。 ・働き方改革は、コストアップを伴うもの、ゼネコン経由で、施主にもきちんと説明していく必要がある。 ・働き方改革も社会全体の課題、一般論としては良くわかるが、どこに陳情するのか適切かよく考えないとだめ。おっしゃることは良くわかるが、設計者の職能団体に言われても・・・。 <p>(ファブ) 働き方改革に取り組んでいる。製造業として扱われると来年4月から待ったなしで規制がかかる。追加・変更への対応が金の問題ではなくなる。打開するためには労働時間を減らして生産性をアップしないといけない。いかに無駄をなくすか一緒にやってやっていきたい</p> <p><高力ボルト調達難に関する理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社では工期遅れの現場が多い。その原因がボルトだったりする。遅ればクライアントにすれば大事な問題。大丈夫になってきたという感覚はない。 ・ボルト不足の原因不明というのが腑に落ちない。 ・高力ボルトの問題については、設計事務所に対して理解してくれと言われても、難しい話し。どうしてこうなっているのかについて、きちんと説明して欲しい。原因と対策を明確にして欲しい。 <p>(ファブ) 前工程が遅れているのにボルトが言い訳に使われたりする。</p> <p><鋼板の有効活用のためのミルシート表記></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人的には大賛成。小回りをきかせたい。キックオフのときにこういう材料も使います、どうしましょうかと決めるといいのでは。トレーサビリティをタイムリーにどうするか決める。かたくなに転用を拒むつもりはない。具体的にどうやればみんなが納得できるトレーサビリティが確保できるかが課題。 ・鉄骨のキックオフで、事前に、こういうこと（転用材使用）をやるのでこういう材料になりますと決めておくようにすればいい。個々の現場でやって、通りが悪いことがあれば聞かせていただき、善処したい。 ・トレーサビリティが担保されていれば、プロジェクト名が記載されていなくても問題ないと思うが、ゼネコン、施主の了解を得る必要があるだろう。 ・ミルシートについては、徐々に進んでいるが、ルールの問題はある。官公庁物件、大
-------	---

設計事務所	<p>型の案件については、難しいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティが確保出来れば、問題ないのでは？きちんとしたルール作りを前提として行う必要がある、特に今は、信用しない事を前提に物事を考える流れがある。特に、通常のルートを外れる時こそ、きちんと確認しながら進めるべき。 アカウンタビリティがないとんとは言えない。役所、検査会社、関係団体の了解がないとんとは言えない。我々が判断できることではない。管理面から言うとシャーリングメーカーだけのハンコというのは怖い。ペーパーだけで通ってしまう。 主材も、といわれると抵抗ある人も多いと思う。 ミルシート表記については、国とかお客様が厳しい現場対応をしている。1枚のシートにこれはどこが使ったと全部出さないといけない。 ミルシートの話は、施主と設計事務所の共通認識、了解で進めて行くべきもの。 もともと市場手配になれば物件名などついていない。いくつかの団体で仕組み・ルールを作ればいいのではないか。 <p><施工試験の負担軽減></p> <ul style="list-style-type: none"> AWに準ずる、というように試験を読み替えられるかどうか、協会でうまく動いていただきたい。 当社としては、出来る物は認めているはず。施主からの要求がある案件もあり、そこは難しい。 施工試験の目的をきちんと明確にする必要あり。単なる興味で行っている物があれば、やめるべき。 こここの部位だけの試験でいいでしょうとやっているが、設計図書に書かれると書かれたことが前提になってしまふ。趣旨は分かったので、機会を設けて設計者に具体的な啓蒙をするのがいい。若手設計者に、当社と技術交流会をしてもいい。 セレモニー的なものと、本当に確認すべき試験を分けていただければ。 (ファブ) 必要な試験はやる、ただし試験内容を明確にしてほしいということ。 <p><今後の見通し、BIM 対応等></p> <ul style="list-style-type: none"> 中小の設計会社の中には、オリンピック後の需要減を危惧している向きもあるが、当社は、再開発物件(品川、渋谷、日本橋等)が多く、高位安定が続くと考えている。 全体の景況感は、概ね横ばいと認識している。大きく減っているという感覚はない。ホテル向けは堅調、集合住宅は減っているという認識。 BIMの活用も対策の一つである。色々な課題もあるが、それでも進めていかなければならない。協会で調整して、共通化、統合に向けた整理をするべき。 不透明が増してきている。今の経済情勢を前提にすれば、ある水準で維持されると思うが国際的な緊張感が高まれば、一気に崩れるかもしれない。
-------	--

2019年度 陳情実施状況（要点・トピックス）

陳情先	回答内容等
ゼネコン 日建連 全建協	<p><要望内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 契約時工期・工程の遵守 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨製作工程表の合意と厳守について ・設計図書の精度向上について ・関連情報の早期確定について ・主構造体の早期材料手配、早期工場製作着手への協力について ・働き方改革への対応について 2. 製品輸送に関わる諸問題の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・製品搬入日程の早期確定と厳守について ・待機場所の確保について ・予定通りの荷取りと車両解放について 3. 高力ボルト調達難に関する理解 4. 追加変更工事の書面による適切な指示と評価 5. 鋼材費、副資材費、物流費、現場労務単価等の変動に伴う適切な精算 6. 鋼板の有効活用のためのミルシート表記 <p><契約時工期・工程の遵守></p> <p>(ファブ) マスター工程表の相互合意については、提出／56件、ゼネコン殿押印／8件、内設計事務所殿押印／7件という事で、ゼネコン殿に押印していただいた物は、設計事務所殿にも押印をいただいているという状況です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番大切なことは、「正確な情報の伝達をいかにスムーズに行うか」だと思う。FABさんにお願いしたいのは、自分達のキャパシティーを踏まえた受注をしていただきたいということ。遅れる場合には、早めの報告をしてもらうなど、情報交換を行い、いい関係を作っていくたいと考えている。 ・関連している各社の問題が影響を及ぼし合うので、まさに業界全体の問題である。また、地域差があり、首都圏では、構造が複雑化、数量も多いので、いくつかのファブと共に、仕事をすることになり、同じ条件であっても、遅れ具合にずれが生じることなる。現場の皆さんを責める訳ではないが、他への波及もあるので、「一生懸命やりました。でもできない」ではなく、すぐに声を上げて欲しい。ざっくばらんにコミュニケーションをとって欲しい。 ・工程変動の原因解明に努め、影響を最小化し、リカバリーを早めるために、社内連携でバックアップする体制について研究している。以前のような型枠工不足に起因する下部工遅れはなくなっている。また、設計施工物件については、BIM連携で工程管理できる体制作りにも努力している。しかし、他社設計物件に関しては解決しなければならない要素が多くBIM化は難儀であると感じている。 ・マスター工程表については、しっかりやりましょう！書式もあるが、形に拘る物ではなく、意識の持ち方、共通認識。 ・ファブさんは対応やりすぎ。ファスナーとか工場でいろいろやり過ぎ。設計事務所、ゼネコンに無駄なことはやりませんとばんばん言わないとだめ。ゼネコンは今浮き足立

ゼネコン 日建連 全建協	<p>ている。ファブさんは苦労してものを作り過ぎている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言質を取られて変更に対する柔軟性を損なうことを警戒、リスク回避しているのだろう。押印に過度に囚われる必要は無いのではないか？ 口頭でも、着工時の共通の計画工程であるという共通認識ができていれば良いのではないか？ この共通認識を持つことは必要であるし、よいことなのだから、ゼネコンに対しても、設計者に対しても強く主張するべきである。 ・若手職員に、設計事務所さんとの折衝力、交渉力を付けさせる必要がある。 ・そもそも工程が短くなってしまっており、ゼネコンが決まり、スタートした時点で、調整する時間が少ないという状況がある。だからこそ、関係者の情報共有が重要になる。施主の興味は、工期の短縮。働き方改革とは、相反する動きになっている部分もある。 ・改正品確法でも「適正な工期確保」が規定されており、ゼネコンとしても厳正に対応する覚悟でいるが、遵守するためには施主の理解が欠かせない。そこがどうなるのか現段階では不透明である。 <p><働き方改革対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで、無理矢理工場を動かしてもらうなどの協力をしてもらっていたがこれからは、同じやり方では立ち行かなくなると感じている。今まで以上に影響が出そうな気がしている。昨年度は、現場で発生した遅れが、後工程まで影響していたような話を聞いたが、今年以降は、同じようなことがあると解消できないかもしれない、気にかかっている。 ・現時点では、現場によって休み方に5パターンがある。2年後には、4週6閉所となる。ファブ業界の中における「働き方改革」に対する認識もあるでしょうから、ゼネコンとしても、その方向性で仕事をお願いしたいと考えており、その前提の中で考えていくしかないと思う。 ・見積りを4週8閉所前提とする方向で考えているが、一方各社の各現場においては、土曜日が全て休みになる訳ではない。休みでない現場に行って仕事をする作業者もいる。 ・働き方改革に関し、当社は4週8休を目指している。昨年度の実績は、祝日を含めてではあるが、4週6休を実施した現場は50%、4週7休は30%であった。工程前半の実施率は高いが、竣工期日が近づくと休みづらい状況になる。ゼネコンの努力だけでは実現は困難で、適正な工期を施主に認めていただくことが必要。その努力は行っている。施主の理解も進みつつあるが、1日でも早い稼働を望む施主もあり、困難なケースもある。 ・日本の全ての建設現場で生じる同種のコスト上昇分を、ゼネコンや施主が負担することは現実的ではないと考える。また、週明けの鉄骨建方をやらないということも非現実的。週明け建方鉄骨を前週に搬入できる置き場の確保も困難。土日全体は、を目指すところであるが、サービス業のように土日は休めない産業もある。ゼネコンも休める現場は休むが、工場の改修、オフィスの改修など、施主の休日（土日）でなければ仕事ができない現場もあり、これにはしっかり対応できるようにする。ファブの皆さんについてても、一部の方には日曜出勤で積込をお願いすることになるかもしれないが、その方は、別の日に休むことで全体として残業時間を管理するなどの工夫ができないか、検討いただきたい。 ・働き方改革に関しては、やはり、建設業と製造業の違いをきちんと理解する事、特に経営幹部にそのあたりを認識してもらう事が必要。最終的には、4週8休を目標として、
--------------------	--

ゼネコン 日建連 全建協	<p>活動していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に伴うコストアップ、特に4週8休を前提にすると厳しくなる。そのあたりは個別に相談しながら進めている。初期計画は、4週6閉所、8休で組む事を基本にし、関係先と相談している。それでだめなら、失注も覚悟でという状況。 ・働き方改革については、生産性の改善にどう向き合っているかの問題であり、生産性の改善で解決するしかない。ファブの働き方改革の対応については、建設業同様、適用時期の優遇措置はあるんですね。←(ファブ) それはご認識が違います。 ・閉所の対応は、現状6、7閉所位のレベル。これは、GW、夏休み、正月等も織込んでという事です。全土曜の閉所で言うと3割位。今年は5割目指す、4週6休という事になる。全体工程は、休みを反映したものにすべく、日建連でも適正工期プログラムを推進している。あれはかなり厳しい内容になっているが、当社で言えば、来年は、4週7閉所を前提に計画をする方向です。マスターとしては、これで進め、後はお客様と詰めて行く。休むけど、ここは現場を動かすとか個別の協議をして行く。 ・4週8閉所に向けて計画を立てている。今年は、4週5閉所で、その後、6、7、8と増やしていく予定。但し、ファブ等、関係先の休みは見えない。各関係先で努力してもらうしかない。 ・目指すところは4週8休であり、実現のためには、工期長期化とそれにともなうコスト上昇が避けられず、これを施工者が受け入れることが欠かせない。公共物件に関しては施工者の理解を得られるだろうが、民間についてはどうなるか不明。我々(GC)は「金で負けることがあっても工期は譲れない」という覚悟で臨む。 (ファブ) 休み明けの、トラック手配が難しくなっている。運送会社の状況はあるが、「金曜日に積み込んだ鉄骨を、そのまま土日も置いておくことはできない」と言われる場合が出てきている。状況をご理解いただきたい。 <p><製品輸送に関わる諸問題の改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の打ち合わせが必要だと思う。置き場所がなければ、仕事にならない。理解のない現場があったら申し出て欲しい。 ・1社だけで解決できる問題ではない。例えば、数社共有の待機場所を確保するなどの工夫が必要。これまで、ゼネコンは「資材在庫を持たない」というやりかたで、必要なものは必要なときに、都度納入業者に運んでもらう、というやり方でやってきた。現場に搬入する資材は数多くあり、現在は各資材の納入者毎に現場搬入するため、非常に多数の車両が現場出入りする。現場から少し離れた場所に中間置き場を確保し、納入業者はそこに搬入、そこからはゼネコンが複数の資材を一車両にまとめて現場に搬入するような輸送システムの見直しも必要かもしれない。 ・輸送問題については、待機場所の件含め、対応が難しい。継続して協議しましょう。 ・鉄骨は月曜日と簡単に考えていたが、あまり考えたことがなかった。 <p><高力ボルト調達難に関する理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策として韓国材を考えている。これからは「すべて日本製」から、間口を広げていくことも考えていきたいと考えている。 ・設計施工物件については、標準継手で共通化するなど同サイズのボルトで対応できる
--------------------	--

ゼネコン 日建連 全建協	<p>ようするなどの工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国のボルトを使おうとしているがファブさんがギャランティーしないと使えない。 ・ボルトの件は、S造の工期のメリットへ悪影響ある。そろそろ改善して欲しい。 ・附帯等は最後まで残り、ぎりぎりで決まる。その時点で、ボルトが追加で必要だとなると対応出来ない。協力体制と情報の共有が大切。今後もこの状態が継続するというの問題。S造をやめて、RCへという話しも現実になっている。早くで安いという、S造のメリットが失われつつある。 <p><追加変更工事の書面に適切な指示と評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加変更に対応については、都度都度は難しいとしても、少なくとも書面で残していく、共通認識を持つ事が重要。 ・変更の発生原因は、多くの場合施主の意向変更によるものであるので、変更に伴う費用は、施主に負担してもらうよう努めており、応分の取り分はファブに還元する。 <p><鋼材費、副資材費、物流費等、物流費等の変動に伴う適切な精算></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼材費、副資材費、物流費等の変動への対応については、時間のかかる非常に難しい問題。コストが上がっている事は理解するものの、客先に説明するための、客観的な情報、指標が欲しい。 ・物価スライド条項をほとんどの契約で取り入れている。施主から認められれば、応分の取り分はファブに還元する。 ・ゼネコンもお客様に大きな変動は面倒を見てと言っている。その時に指標（価格表とか）が欲しいと言われるがメーカーはなかなか出さない。ファブでもそうした数字を押させておいてほしい。 ・コストの変化、増加についての整理は、悩ましい。客からもらうしかないが、根拠が必要、ファブ側からきちんとした情報をいただければ、言いに行きます。コストの変化については、きちんとしたルールがあれば、それに従って、肃々とやるだけなのだが、何か基準が欲しい。 ・コスト問題は、認識しているが、やはり施主等の理解が前提になるので、ゼネコンはもちろんだが、施主さんとよく話していく事が大切。 ・発注者の意識改革が必要。コストについても、最終的には事業収支の問題。コストアップを織込んで見積りを出しても、それはそれで案件が取れない。 ・コストの変化については、なかなか難しい。鋼材については、議論するが、他は今まで、実際に議論した経験はない。 ・コスト変動の問題は、簡単ではない。価格が上昇傾向なので、先読んで、高めに見積り出すと取れない。 <p><鋼板の有効活用のためのミルシート表記></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーサビリティがしっかりとしていれば、推奨をしていきたい。 ・鋼板の有効活用のためのミルシート表記、実態に則して進めて行きたい。 ・技術部に確認したが、ファブ名、工事名の記載がなくても問題ない、との見解である。 ・通常どおりに裏書していたが、どこかがおかしなことをして許さないという所が出てきた。原点に戻らないとだめ。
--------------------	---

ゼネコン 日建連 全建協	<ul style="list-style-type: none"> ・この材料しか扱わないというシャーならいいが、あるいは倉庫区切ってあって第三者がチェックしているとかなら。これをルールにしたいというのであれば、勉強会みたいにして先生も入れてルールつくりができればいい。 ・発注後の設計変更に対する柔軟な対応を可能にするために必要な措置である。適正な鋼材であることが担保できていれば問題は無い、というのが当社の基本的な考え方である。検査機関、設計者、施主に理解していただく必要がある。 ・(ファブ) 追加変更があって、材料を充当したい場合は、何も書いてない物に裏書をした上で、ご相談している。但し、大原則は決まった所に出すという事。一方、現状主材は、概ね当初向け先で対応出来ているが、ここも出来れば転用を考慮した表記にしていきたい。 ・官の仕事は無理ですよね。まずは、官への対応がスタートでは!官が良いから、民も適用という流れではないか。結局、官の仕事では、物件名、現場、材料含め、全部一揃い集めて、記載検査で整合を確認している。 (ファブ) 追加変更があって、材料を充当したい場合は、何も書いてない物に裏書をした上で、ご相談している。但し、大原則は決まった所に出すという事。現状主材は、概ね当初向け先で対応出来ているが、主材も出来れば転用を考慮した表記にしていきたい。 <p style="text-align: center;"><今後の見通し、BIM対応等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック期間中の対応については、まだ具体的な要請はない。 ・西は万博、IRなどあるが規模としては縮小し、東にシフトしていくのは間違いない西はパイが小さい、九州は伸びている。一方ここへきて中国ブレーキ、住宅も頭打ち、こんなにオフィスを作つてどうなる、また物流も頭打ちで弾ける危機感もある。 ・オリンピック後も、概ね横ばいで推移するか、少なくとも首都圏はPJもありそう。但し、足元ここ2~3ヶ月位で様相も変化してきていると感じる。海外を含めた経済環境、「働き方改革」の影響によるコストの上昇と言つた様々な課題、変化の兆し。 ・たぶん都内及び近郊の現場は止めざるを得ないこととなると推察する。国や都からの早めの指示を望む。 ・図面遅れによる工程遅れの話も良く聞くが、ゼネコンの設計能力が低下しているのか気になっている。BIMに対する期待が大きいが、普及はどの程度進んでいるのか? ・BIMについては、まだきちんと使えていない。最初のデータが大切だが、十分な情報が整理出来るのかという課題がある。 ・BIMについては、東京のシリーズ物のオフィスビルで活用している。設計施工でやっているが、これは、これだけはうまくいっている。最初は疑心暗鬼だったが、やってみたら非常にうまくいった。この成功事例をいかに他に展開出来るかが課題。
--------------------	---

2019年度 陳情実施状況（要点・トピックス）

陳情先	回答内容等
高炉メーカー	<p><要望内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 鋼材供給の円滑化（納期厳守） 2. 鋼材の安定価格での供給 <p><環境・需給></p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚板についてはミルトラブルがあつてタイトな状況の中橋梁、鉄骨は最優先。需要は堅調。造船は手持ち工事ある、足元やや少ないがSOX規制対応への切り替え需要が出てくる。建産機は不透明なところはあるが上限。橋はインフラ更新でタイト。高規格材は精製工程がネックになる。価格については建材と同じ、5000円アップをお願いしている。厚板は物流コストが高く、お客様のトラックを使うとか、工夫しており連携していきたい。 ・設備老朽化、人の若返りのため設備トラブルの復旧に手間取っている。また作っているものも難しくなっている。このため思うように生産量が伸びておらず材料供給に四苦八苦している。2018年度からの中期3ヵ年計画で劣化更新投資を8500億円予定している。タイムリーに供給できるようやっているところ、 <p><高力ボルト関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボルトは需給の改善に取組む。もう少しあつかりしたところで発信したい。需要については事務所・店舗は再開発で活発、倉庫もまだまだ続く、工場は米中摩擦の影響が大きい。サプライチェーンでは設計事務所、ファブの能力、輸送ドライバー確保など課題が多いが納期を守ると同時に新工法などで省人化もやっていく。最悪の状況は脱した。これから改善していく。あるタイミングで協力いただいて着工を増やしていきたい。状況が後戻りすることはない。ボルトは流通経路が長く、そこはコントロールできないので今はあつかり言えない。 ・ボルトはどこかで安全宣言をしないといけない。国交省あたりが落ち着いたよと言つてくれればいいのだが。 <p><価格関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格については鉄鉱石価格、物流費がアップしておりコストの価格への反映を丁寧に会話させていただきたい。 ・いろんなコストが上がっている。主原料アップ、それ以外の諸物価も高止まりしている。 ・価格スライド→難しい。物件の中で途中からは変えられない。物件ごとにそろえている。 ・値崩れしないよう我々も一緒になってやるが、気を付けてほしい。 ・価格は変わらし、安定価格でできますとは言えない。皆さん、おわかりだと思うが、鉄鉱石と石炭の価格の変化が、四半期ごとにあるわけだから、どうしても価格は変動する。私サイドからの物言いで返答させていただくなら、それは変わるので対応をよろし

高炉メーカー	<p>くお願いしますと申し上げるしかない。</p> <p><ミルシート関連></p> <ul style="list-style-type: none">・設計事務所がキーになるので理解してもらわないといけない。・こういう仕組みがあるからトレーサビリティあります、というものがあればいい。鉄連からも人を出し、鉄建協さん、全構協と集まってどこを攻めればいいかやってみては。・パワーのあるゼネコンや、鉄鋼メーカーを動かすのなら、役所をうまく使うのが一番いいかもしない。
--------	--

2019.9.19

「NDI-UT レベル1 基礎講座」受講希望者アンケート結果と実施（案）

支部	アンケート結果			開催希望地 (コース数)	開催日;開催場所(予定)
北海道	×	一	定期開催しているため	—	—
東北	○	16名		仙台 1	10/11(金)～15(火)宮城(多賀城)
関東	○	70名	茨城2、栃木5、群馬22、埼玉3、千葉16、 東京10、神奈川2、新潟4、長野6	群馬 2、首都圏 2	10/18(金)～22(火)群馬(高崎) 10/23(水)～27(日)群馬(高崎) 12/16(月)～20(金)千葉(海浜幕張) 12/21(土)～25(水)千葉(海浜幕張)
北陸	○	15名	福井4、石川6、富山5	金沢 1	11/1(金)～5(火)石川(金沢)
中部	○	43名	愛知15、岐阜5、三重10、静岡13	名古屋 1、三重 1、静岡 1	11/8(金)～12(火)三重(四日市) 11/27(水)～12/1(日)愛知(小牧) 12/6(金)～10(火)静岡(静岡)
近畿	○	60名	滋賀7、京都12、兵庫20、 奈良8、和歌山3、大阪10	大阪 2、兵庫 1	11/15(金)～19(火)大阪(摂津) 11/20(水)～24(日)大阪(摂津) 1/16(木)～20(月)兵庫(尼崎)
中国	○	19名	広島13、山口3、鳥取2、岡山1	広島 1	12/2(月)～6(金)広島(広島)
四国	×	—	定期開催しているため	—	—
九州	○	35名	福岡25、沖縄10	福岡 1、沖縄 1	1/8(水)～12(日)福岡(北九州) 1/25(土)～29(水)沖縄(北谷)
合計	7支部	253名		12地区 15コース	

(ひな型)

超音波探傷（UT）レベル1「基礎講座」開催案内

主催；（一社）全国鐵構工業協会
○○支部（または正会員組合）

（一社）全国鐵構工業協会では、近年の技術者不足を改善するため、特に品質管理上、重要な資格である「建築鉄骨超音波検査技術者」取得のために、まずは、その受験資格となる「NDI-UT レベル1」（日本非破壊検査協会認証資格）の取得支援を強化することに致しました。

については、特別措置として、下記の開催要領の通り、受講料を10,000円（通常50,000円）税別にて実施することに致しましたので、是非、この機会にご参加下さるようご案内致します。

なお、本講座は、「NDI-UT レベル1」の受験申請に必要な訓練時間（40時間）を満足するカリキュラムになっており、講座終了後に訓練実施記録（JIS Z 2305:2013 対応）を発行致します。

【開催要領】

1. 受講対象者 2020年度春期試験にUTレベル1を受験する方
(受験申請受付期間；2020年1月下旬)

2. 開催日 ○○～○○

3. 場所 ○○
(各県ポリテクセンター施設)

4. 講座内容

			講座内容
第1日目	9:00～18:00	講義・実習	超音波探傷の基礎、探傷装置の取扱い
第2日目	9:00～18:00	講義・実習	垂直探傷の基礎・実習
第3日目	9:00～18:00	講義・実習	斜角探傷の基礎・実習
第4日目	9:00～18:00	講義・実習	垂直・斜角探傷の復習・実習
第5日目	9:00～18:00	講義	垂直・斜角探傷の復習、問題演習

※実習で使用する探傷器（G・Rタイプ）は当方で準備します。

※講座終了後に訓練実施記録を発行します。

5. 受講料 全構協構成員 11,000円（税込）※通常55,000円

全構協非構成員 55,000円（税込）

振込先	○○銀行 口座番号 ○○○○○	○○支店 口座名義 ○○○○○
-----	--------------------	--------------------

※受講申込み後に取消し又は欠席した場合でも返金はできませんので、十分ご注意ください。

6. 申込方法 添付の「講習会受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
定員（20名）になり次第、締切とさせていただきます。

申込先 (問合せ先)	○○○○○○○○○ 組合・工業会 〒 - 電話 - - FAX - -
---------------	---

※本講座で使用するテキスト（4冊）も併せてお申込み下さい。

7. 申込期限 2019年○月○日(○)必着 ※開催日の3週間前まで

○○○○○○○○○ 組合・工業会 宛て
FAX - - -

受付印

受講申込書（受講票）

下記に必要事項をご記入いただき、FAXにてお申し込み下さい。

受付印を捺印し、FAXにて返信しますので、本紙を受講票として当日ご持参下さい。

また、受講料は期日（---月---日）までにお振込みをお願いします。

●受講者氏名

会社名	
所在地	(〒 - - -)
受講者氏名	
TEL	
FAX	

●探傷器タイプ

希望する探傷器のタイプ	Gタイプ・Rタイプ・どちらでもよい (いずれかに○印を付けて下さい)
-------------	---------------------------------------

●書籍注文

書籍名	定価	部数冊	金額
①超音波探傷試験 I	2,484		
②超音波探傷試験 I 問題集	2,592		
③超音波厚さ測定問題集	1,404		
④超音波探傷試験実技参考書 「デジタル超音波探傷器編」	5,658		
	合計		

※テキスト代は、受講料と一緒に振込み下さい。

会場 ポリテクセンター○○ TEL - - -
(〒 - - -)
問合せ先 ○○○○○○○○○ 組合・工業会 TEL - - - FAX - - -
(〒 - - -)

受講に当たって注意事項

- ☆受講当日は、8：45までに受付して下さい。
- ☆テキストは当日、会場にて配布致します。
- ☆受講票（本紙）、筆記用具、関数付電卓を持参して下さい。
- ☆受講当日の緊急連絡先は、○○○-○○○○-○○○○（担当；○○）までお願いします。

2019.09.19.

ワーキンググループ(WG)の新規設置について

以下のテーマについて、鉄建協と連携して検討を進めるため、

鉄骨製作支援協議会(旧・鉄骨製作管理技術者登録機構)内にワーキンググループ(WG)を設置する。

[検討テーマ]

1. 鉄骨技術者資格の法制化
2. 建築鉄骨技能士(仮称)制度の創設
3. ミルシート表記の改善
4. 高力ボルトサイズ集約

[設置するWGの体制]

W G 名	メンバー		
	全構協	鉄建協	その他
(仮称)鉄骨技術者資格法制化検討WG	2名	1名	
(仮称)建築鉄骨技能士制度創設検討WG	2名	2名	
ミルシート表記改善検討WG	1名	1名	シャーリング工業会 1名
高力ボルトサイズ集約検討WG	1名	1名	

※ 全構協からのメンバーは、各県組合等理事長、副理事長の、保有資格等を考慮して適任者を選任する。

労働時間法制度見直し(働き方改革)への対応

対応開始日 (適用開始日)	改正する法律	見直し対応項目(対象)	罰則	対応内容
2019年4月1日	労働基準法	5日間/年の年次有給休暇を従業員に取得させる義務 (すべての企業)	30万円以下の罰金	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年5日、時季を指定して年次有給休暇を取得させる。 ・就業規則の「<u>休暇※1</u>」が必要。 (労働者ごとに「年次有給休暇管理簿」を作成し保管する) <p>詳細内容は下記アドレスをクリック https://www.mhlw.go.jp/content/000463186.pdf</p>
2019年4月1日	労働安全衛生法	労働時間の把握義務(すべての企業)	なし※2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理制度として労働者の労働時間を客観的に把握する。(原則としてタイムカード、ICカード等の方法による) ・就業規則の「<u>休暇※1</u>」が対象
2020年4月1日	労働時間等設定改善法	勤務間インターバル制度→努力義務		<ul style="list-style-type: none"> ・「勤務終了後、翌日の出社までの間に、一定時間以上の休息時間を確保する仕組み」を作る。 ・就業規則の「<u>休暇※1</u>」が必要 <p>詳細内容は下記アドレスをクリック https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyaku/roudou/toudoukiu/01/ikan/interval/index.html</p>
2021年4月1日	労働基準法	時間外労働の上限規制(中小企業)	6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働の上限は、原則として、1ヶ月45時間、1年360時間まで(1年単位の変形労働時間制の場合)は1カ月42時間、1年320時間までとする。また、上限を超えた時間外労働を行わせる場合には、特別条項付の36協定を締結し、届出の必要がある。 ・36協定の締結は時間外労働と休日労働を行わせるすべての企業で必要 <p>詳細内容は下記アドレスをクリック https://www.mhlw.go.jp/content/000463185.pdf</p>
2023年4月1日	パートタイム・有期雇用労働法 労働者派遣法	正規・非正規労働者間の待遇格差の是正 (中小企業)	なし※2	<ul style="list-style-type: none"> ・パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者について、通常の労働者との間の不合理な待遇差をなくす(均衡・均等待遇) <p>詳細内容は下記アドレスをクリック https://www.mhlw.go.jp/content/000467476.pdf</p>
	労働基準法	月60時間を超える残業の割増率引上げ (中小企業)	6か月以下の懲役または30万円以下の罰金	<ul style="list-style-type: none"> ・月60時間を超える時間外労働の割増率を50%以上とする。 ・2023年までに就業(賃金)規則に規定※が必要

※直された内容の確認は、こちらから
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyaku/roudou/toudoukiu/01/ikan/interval/index.html><https://www.mhlw.go.jp/content/000463185.pdf>

2019年9月19日

※1:従業員10名以上のすべての企業または10名未満の会社で就業規則を作成している企業が対象となります。
※2:直接の罰則がない場合でも、法津に則して適切な対応がなされなければ、行政から是正勅令や指導を受ける可能性があります。

2019.9.19.

【品質管理委員会報告】

工場認定条件の保持状況確認 調査結果まとめ

1. 目的

鉄骨の工場認定制度において、性能評価を受けた品質管理体制に変更が生じた場合には、その旨を1ヶ月以内に性能評価機関に届出することになっている。全構協の構成員がこの報告を確実に行っているかを確認することにより、品質管理体制の保持を図り、工場認定制度および鉄骨製品の信頼性確保を図ることを目的とする。

2. 対象工場

全構協の構成員の大蔵認定を受けた鉄骨製作工場で、性能評価取得後、丸2年が経過した認定工場を対象とする。

ただし、初年度（2019年度）だけは、全認定工場を対象とする。

3. 調査時期

2019年度より、毎年度上期に実施する。

初年度は2019年4月11日～7月31日で実施した。

4. 確認方法

(1) 全構協の全構成員の大蔵認定工場に対して、所属組合を通じて以下の内容に関する確認書の提出を依頼する。提出先は所属組合事務局とする。

① 性能評価時からの品質管理体制の変更の有無 <変更無・変更有>

② 変更有の場合の性能評価機関への報告書提出状況 <提出済・提出未>

(2) 各組合事務局は、報告書未提出の工場に対して速やかな措置を行うよう指導する。

(3) 各組合事務局は、認定工場リストに確認結果を記入し、全構協事務局に提出する。

5. 調査結果

認定工場数	回答数	未回答数	回答率	体制変更：有		報告書提出：未		比率定義
				工場数	比率	工場数※	比率	
1,770	1,770	0	100%	478	27%	175	10%	回答数のうち 変更有のうち 以上

※ 各組合の確認時点での数字であり、その後、体制変更報告書を提出した工場は含まない。

以上

2019/09/19

無線操作式クレーン免許対応WG

共同陳情依頼先の回答状況 (2019/09/13 現在)

I. クレーン利用者

(一社)鉄骨建設業協会	機関決定待ち。共同陳情に参加する方向で作業を進めている。
(一社)日本建設機械工業会	回答保留。日本クレーン協会の方針に従う。
(一社)日本工作機械工業会	陳情に参加。 但し、従来免許でも無線式を運転可とすることが条件。
(一社)日本産業機械工業会	不同意。 危険要素が多いため、現在より安易になるのは好ましくない。
(一社)日本電機工業会	不同意。 免許制度は協会の主たる事業ではない。 安全性の面で、賛否両論あり。
(一社)日本造船工業会	不同意。 専門家にも聞いたが、安全性の面で疑問の意見が多数あり。
(一社)日本鉄道車両工業会	検討中。各社の実態調査の上、参加可否を検討する。
(一社)日本金型工業会	陳情に参加。
(一社)日本溶融亜鉛鍍金協会	陳情に参加。
(一社)全国コンクリート製品協会	機関決定待ち。 ほぼOKだが、上席メンバーの確認を取る手続き中。
全国製缶機械工業協同組合	検討中。 9月21(土)15時～の理事会に諮りそこで決める。
全国厚板シヤリング工業組合	検討中。9月末の総務委員会に上程予定。

II. クレーンメーカー

金陵電機（株）	陳情参加。技術面での全面的サポートを行う。
---------	-----------------------

III. 団体

(一社) 日本クレーン協会	回答保留。 無線特有の学科、実技試験が必要で、従来のクレーン免許では運転できないようにすべき。要望方針をどうするかの回答が必要。
---------------	---

以上

無線操作式クレーン免許対応に関する共同陳情参加依頼時の
(一社)日本クレーン協会からの発言メモ

訪問月日：2019年7月18日（木）

先方：(一社)日本クレーン協会

○技術普及部・坪田部長（建設出身）、・香川調査役（造船出身）

当方：全構協 猪砂

先方からの発言。

（1）無線操作式クレーンの安全性についての見解

○無線式クレーンには、従来のクレーンに比べ、安全性が向上する面と低下する面がある。

・床上操作式は、荷と近いのでその分、運転者の安全性では劣るが、運転者が吊荷と共に移動するので、周りで作業している人には気づきやすい。

無線操作式は、離れて操作できる点で、運転者にとっては、安全性が向上するが、荷から離れた位置で操作するため、吊荷の周囲の状況の把握がおろそかになる。

・地上無線操作式は、機上操作式のように上から見るのでなく、地上操作なので、吊荷の進行方向に人がいても、障害物の死角となって見えない時があることや、視界が狭くなる等の課題があり、吊荷の周囲の人にとっては危険な状況になる場合がある。

⇒ 地上無線操作式は、このように、吊荷の周りで作業している人に対する安全性が、床上操作式や機上操作式より低下するという特徴を有している。

（2）全構協の要望提案に対する評価

全構協の提案は、無線式は安全性が高いという前提に立ち、受験者の負担を軽減させれば、導入機運が高まることで普及し、クレーン作業全体の労働災害防止につながるという流れで構成されている。しかし、現実は、地上無線式は上記（1）の危険性をはらんでいるので、労働災害防止を図るために、単に無線式を普及させればよいではなく、運転者の免許付与や教育訓練に関して何らかの改善策を講じることが必要である。協会としても安全指針の協会規格を作り会員に啓蒙しているが、今回の要望提案では、そういった視点が欠けており、この方針のままでは協力できない。

（3）無線式クレーンの事故防止に向けた今後のあるべき方向

機上式と地上無線式では、求められる知識と技術が異なるが、現在は、機上式の免許で地上無線式も運転できるようになっている。無線式の知識と技能を有しない者が、無線式を運転していることが、事故がなくならない大きな理由だ。無線式の事故をなくすためには、少なくとも、免許取得時に知識と技能の課目に無線式特有の試験を追加し、その合格者のみが無線式を運転でき、通常の機上式の免許保持者では、運転できないようにすべきだ。

この方向なら、協会として協力することもあり得る。

ただ、一方で、既に現制度でのクレーン免許を有している者が、制度変更により無線式の運転ができなくなれば、既得権益の関係で、他の団体から反対がでるだろう。

以上の事情を考慮したうえで、どの方針を取るか、全構協でよく話し合って、返事が欲しい。

以上

2019.9.19

【鉄骨製作支援協議会】

女性活躍ビデオ制作委員会報告

1. 目的

鉄骨業界の人材の不足対策として、女性技能者・技術者の求人・採用活動に資する業界 PR ビデオを制作し、インターネットで広く公開する。

2. 委員構成

全構協：[委員長]大竹良明（関東支部長）、小泉学（青年部会 関東B長）、西山裕美（鐵建）

鉄建協：高木敏行（運営委員会副委員長）、小高真希（巴コーポレーション）

溶接協会：霜凍麻美（溶接女子会事務局）

事務局：全構協／大橋、千田 鉄建協／白井

3. ビデオの制作方針

(1) 対象

- ① もの作りに興味のある転職希望の女性
- ② 工業高校や機械系専門学校の就職活動期の女子学生

(2) ビデオの公開方法と体裁

- ① YouTube で公開し、全構協、鉄建協、溶接協会のホームページにリンクを張る。
⇒ DVD は転職者層には配布困難。最近の就活はネットの活用が主流。
- ② 1本 30 秒～3 分程度の動画を 6～7 本製作する。
⇒ ネットで長い動画は不適。興味喚起の導入編と女性技能者紹介編で構成。

(3) コンセプト

- ・街作りに貢献する鉄骨製作業界への興味喚起。
- ・鉄骨製作工場で働く女性のやりがい、もの作りの魅力を伝える。

(4) 予算：全体で 800 万円（鉄骨製作支援協議の 2019 年度予算に計上済み）

(5) 制作会社：(株) K プロビジョン

- ・鹿島建設の子会社、全構協の DVD 「鉄骨ガールと工場見学」等の実績あり。

4. ビデオの企画案（素案）

＜仮題＞建築鉄骨フィーメール ～わたし、鉄骨選びました～

(1) 興味喚起編

- | | |
|------------|------------------------------|
| 動画① (30 秒) | ：鉄骨イケメンコレクション／俺たちと鉄骨やらないか？ |
| 動画② (30 秒) | ：鉄骨エクササイズ／みんな！鉄骨は楽しいか？Yeah!! |

(2) 女性技能者紹介編

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 動画③～⑥ (各 3 分) | ：密着！鉄骨フィーメール／CAD、組立、溶接、検査 |
| 動画⑦ (3 分) | ：鉄骨フィーメール女子会／職場の本音トーク |

5. 出演者の募集・選定

- ・男性イケメン社員 5～10 名（動画①）：全構協関東支部と青年部会関東 B で募集をかける。
- ・女性技能者 4 名（動画③～⑦）：全構協、鉄建協、溶接協会で分担して関東地区で探す。
(撮影経費の削減のため、全国募集は行わない。)

6. 今後の予定

2019 年 10～12 月：シナリオ検討、撮影、仮編集

2020 年 2 月：本編集、試写会、修正作業

3 月：動画完成、YouTube で公開

以上

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
平成31年3月31日現在 (平成30年度増減数)		34	27	2,208
令和元年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(8)	2,208
令和元年6月7日 第2回理事会	5月31日	6	2	2,212
令和元年6月7日 第3回理事会	—	—	—	—
令和元年7月11日 第4回理事会	7月5日	5	5	2,212
令和元年9月19日 第5回理事会	9月10日	4	3	2,213
累 計		15	10	2,213

《グレード別内訳》

S : 5 H : 258 M : 832 R : 604 J : 51 未 : 463 合計 : 2,213

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和元年9月10日現在

区分 承 認	登録・取消 登録 社数	増 減							増減差	増減後 構成員数		
		取消社数										
		倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他の	合 計				
平成11年度合計	46	63	76	32	18	4	86	279	-233	3,726		
平成12年度合計	22	48	52	31	11	5	83	230	-208	3,518		
平成13年度合計	22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261		
平成14年度合計	40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017		
平成15年度合計	33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849		
平成16年度合計	65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813		
平成17年度合計	35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770		
平成18年度合計	49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739		
平成19年度合計	51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711		
平成20年度合計	49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652		
平成21年度合計	37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538		
平成22年度合計	23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395		
平成23年度合計	14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260		
平成24年度合計	20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200		
平成25年度合計	13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171		
平成26年度合計	26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158		
平成27年度合計	36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169		
平成28年度合計	36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172		
平成29年度合計	56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201		
平成30年度合計	34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208		
令和元年度	第 2 回 (5月31日)	6	0	1	0	0	0	1	2	4	2,212	
	第 3 回 (一)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	第 4 回 (7月5日)	5	0	1	2	0	0	2	5	0	2,212	
	第 5 回 (9月10日)	4	0	0	1	0	0	2	3	1	2,213	
	第 6 回 (月 日)											
	第 7 回 (月 日)											
	第 8 回 (月 日)											
	第 9 回 (月 日)											
	年度末処理											
	元年度計	15	0	2	3	0	0	5	10	5	2,213	
	累 計	994	499	653	518	124	79	1,129	3,002	-2,008	2,213	

1. 転・廃業内訳 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度
 転業 3社 転業 0社 転業 0社 転業 1社 転業 0社
 廃業 2社 廃業 6社 廃業 9社 廃業 4社 廃業 2社

	S	H	M	R	J	未	合計
平成27年度	1	1	3	6	0	14	25
平成28年度	0	2	1	8	0	22	33
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
令和元年度	0	0	1	7	0	2	10

構成員登録社数・増減一覧表

(元. 7. 6～元. 9. 10)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	74	1	-1	73	
	森	38	1	-1	37	
	手	30	0	0	30	
	城	40	0	0	40	
	田	24	0	24	0	
	形	25	1	1	26	
	島	61	0	61	0	
	茨	60	0	60	0	
	栃	52	0	52	0	
	群	65	0	65	0	
関東	埼玉	53	0	53	0	
	千葉	54	1	1	55	
	東京	49	0	49	0	
	神奈川	41	0	41	0	
	新潟	91	0	91	0	
	山梨	31	0	31	0	
	長野	66	0	66	0	
	山形	39	0	39	0	
	福井	32	0	32	0	
	岐阜	40	0	40	0	
中部	静岡	71	0	71	0	
	愛知	141	1	-1	140	
	三重	61	1	1	62	
	合計	2,212	4	3	2,213	

業企請錄登員成權

令和元年9月10日現在

登録番号

構成員登記簿一覽表

令和元年9月10日現在
令和元年9月19日決定

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移
(国土交通省建築着工統計速報による)

2019年9月5日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成11年度計		197,017	101.9	68,108	97.5	17,361	110.0	7,678,750	98.8
平成12年度計		194,481	98.7	70,808	104.0	15,305	88.2	7,846,050	102.2
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
2020年 度～ 平成30年 度～	4月	11,733	98.8	4,323	99.3	133	68.6	438,950	98.7
	5月	10,912	97.3	4,275	98.1	164	93.2	435,700	98.0
	6月	11,350	91.9	4,712	98.3	36	19.1	473,000	96.7
	7月	11,869	102.6	4,724	108.8	260	120.4	485,400	109.1
	8月	10,906	95.1	4,385	95.4	30	15.3	440,000	93.8
	9月	11,160	95.8	4,253	96.5	118	67.0	431,200	95.9
	10月	11,604	100.0	4,402	107.3	199	80.9	450,150	106.5
	11月	11,194	96.6	4,122	91.1	82	31.8	416,300	89.4
	12月	10,878	107.2	3,926	107.5	153	120.5	400,250	107.7
	1月	9,717	102.6	3,779	95.4	64	54.2	381,100	94.8
	2月	9,789	97.1	3,762	101.8	133	19.5	382,850	94.9
	3月	9,966	99.8	3,385	86.4	92	43.4	343,100	85.3
	年度計	131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2021年 度～ 令和9年 度～	4月	11,222	95.6	3,919	90.7	200	150.4	401,900	91.6
	5月	10,552	96.7	3,761	88.0	147	89.6	383,450	88.0
	6月	11,812	104.1	4,283	90.9	75	208.3	432,050	91.3
	7月	11,974	100.9	4,756	100.7	131	50.4	482,150	99.3
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	45,560	99.3	16,719	92.7	553	93.3	1,699,550	92.7

(単位) 面積 1,000m²
前年同期比 %(注)鉄骨推定所要量
鉄骨造 m² × 100kg
鉄骨鉄筋造 m² × 50kg

2019(令和元)年度 主要会議日程表

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1
5	2	3	4	5	6	7	8	4	5	6	7	8	9
6	3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7
7	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
8	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
10	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
11	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
12	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
13	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
14	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
15	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
16	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
17	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
18	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
19	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
20	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
21	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
22	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
23	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1
24	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3
25	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3
26	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
27	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5
28	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
29	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
30	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8

2019.9.19 現在

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1
5	2	3	4	5	6	7	8	4	5	6	7	8	9
6	3	4	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	10
7	4	5	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10	11
8	5	6	7	8	9	10	11	7	8	9	10	11	12
9	6	7	8	9	10	11	12	8	9	10	11	12	13
10	7	8	9	10	11	12	13	9	10	11	12	13	14
11	8	9	10	11	12	13	14	10	11	12	13	14	15
12	9	10	11	12	13	14	15	11	12	13	14	15	16
13	10	11	12	13	14	15	16	12	13	14	15	16	17
14	11	12	13	14	15	16	17	13	14	15	16	17	18
15	12	13	14	15	16	17	18	14	15	16	17	18	19
16	13	14	15	16	17	18	19	15	16	17	18	19	20
17	14	15	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20	21
18	15	16	17	18	19	20	21	17	18	19	20	21	22
19	16	17	18	19	20	21	22	18	19	20	21	22	23
20	17	18	19	20	21	22	23	19	20	21	22	23	24
21	18	19	20	21	22	23	24	20	21	22	23	24	25
22	19	20	21	22	23	24	25	21	22	23	24	25	26
23	20	21	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	27
24	21	22	23	24	25	26	27	23	24	25	26	27	28
25	22	23	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28	29
26	23	24	25	26	27	28	29	25	26	27	28	29	30
27	24	25	26	27	28	29	30	26	27	28	29	30	31
28	25	26	27	28	29	30	31	27	28	29	30	31	1
29	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
30	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8

↓ 夏期・年末年始休日

↓ 土日・祝日

◇ 振替休日

↓ 休日出勤

開催年月日	時間	三役会	理事会	全理事会	審議会	委員会	その他
2019年 (令和元年)	4月 5日 金	12:00 ~ 18:00	12:00	15:00	※事務局長会議	16:30 憲親会	
5月 10日 金	14:00 ~ 17:00	14:00	14:00		※総会招集決議	17:30 憲親会	12:00~14:00全般評議会総会
5月 21日 火	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00	※特別	17:00 憲親会	14:00 青年部会幹部との懇談	
5月 22日 水	9:30 ~ 12:00			9:30	17:30 憲親会	14:00 各委員会代表者の意見交換会	12:00~14:00全般評議会
6月 7日 金	9:30 ~ 18:30	9:30	11:30	15:00		15:00 賛助会員との意見交換会	16:30賛助会員との懇談会
7月 3日 水	12:00 ~ 17:00	12:00				16:30 各委員会代表者の意見交換会	16:00各委員会代表者の意見交換会
7月 11日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00			17:30 憲親会	14:00 各委員会代表者の意見交換会
7月 12日 金	9:30 ~ 12:00			9:30		11:30 技術委員会	12:00~14:00全般評議会
8月 28日 水	14:00 ~ 17:00	14:00					
8月 29日 木	11:30 ~ 14:00			14:00		14:00 賛助会員との意見交換会	※教育人材育成委員会のみ
9月 10日 火	14:00 ~ 17:00	14:00				18:00 賛助会員との意見交換会	大飯開催
9月 19日 木	10:00 ~ 19:00	10:00	12:00			18:00 賛助会員との意見交換会	※企画委員会のみ
9月 20日 金	9:30 ~ 12:00			9:30		18:00 賛助会員との意見交換会	12:00~14:00全般評議会
10月 16日 水	14:30 ~ 17:00	14:30					
11月 13日 木	11:00 ~ 17:00	11:00		15:00		16:30 賛助会員との意見交換会	※全国理事長会
11月 21日 木	13:00 ~ 19:30	13:00					
11月 22日 金	9:30 ~ 12:00			9:30		17:30 憲親会	
12月 12日 木	12:00 ~ 14:00					17:30 憲親会	
12月 13日 金	14:00 ~ 19:30	14:00					
2020年 (令和2年)	1月 17日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00	※特別	17:30 憲親会	
2月 4日 火	14:00 ~ 17:00	14:00					
2月 13日 木	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00				
2月 14日 金	9:30 ~ 12:00			9:30		17:30 憲親会	
3月 10日 火	14:30 ~ 17:00	14:30					
3月 18日 水	10:30 ~ 19:00	10:30	14:00			17:30 憲親会	
3月 19日 木	9:30 ~ 12:00			9:30		17:30 憲親会	

開通面体	その他
【青年部会】 総会・全国大会： 平成31(2019)年4月20日(土) 名古屋	
2020年4月10日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 憲親会(16:30)	
2020年5月19日(火) 三役会(14:00)	
2020年5月28日(木) 三役会(10:30) 理事会(14:00)	
2020年6月17日(水) 三役会(11:30) 総会(15:00) 憲親会(17:00)	
参考：全般評議会(14:00) 参考：全般評議会(14:00)	
2020(令和2)年度予定	
2020年4月10日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 憲親会(16:30)	
2020年5月19日(火) 三役会(14:00)	
2020年5月28日(木) 三役会(10:30) 理事会(14:00)	
2020年6月17日(水) 三役会(11:30) 総会(15:00) 憲親会(17:00)	
* = 变更箇所	

< 北海道支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A)

提出日 令和元年8月15日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	2日(火) 三役会・役員会 9日(火) 例会	16日(火) 性能評価工場審査 1社 29日(月) 第3回役員会
函館		
室苫小樽		
旭川	8日(月) 営業担当者会議	
北見	23日(火) 月例委員会	
帯広	24日(水) ピール会	
釧路		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	1 ~ 7	90 ~ 120		○		75~280	76~280	86~320
函館	3	2 ~ 4	2 ~ 3	80 ~ 100			○	110~180	120~200	-
室苫小樽	3 ~ 6	1 ~ 4	1 ~ 2	90 ~ 120		○		140~220	120~210	-
旭川	10	4		100 ~ 100			○	100~150	100~160	-
北見		3 ~ 5		100 ~ 110		○		170~180	160~170	-
帯広	3 ~ 5	3 ~ 8	2 ~ 3	100 ~ 100		○		55~180	65~145	-
釧路	10	1 ~ 8		90 ~ 110		○		120~180	130~220	-

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・各社とも山積みが高い状況が続いているが、2020年以降の大型物件の動きも出てきている模様。ただ足元は相変わらず図面の決まりが悪く、山積み調整に苦慮している。見積りは例年に比べ「少ない」というところが増えている。 ・共同積算: 1~7月 69,162t 平年比86% 前年比83%
函館	・各会員、稼働率に関しては高めで推移しているが、見積り量は前年ベースで比較すると少なめ。価格については大きく変わりなし。
室苫小樽	・工場稼働は落ち着いてきているが、図面決定の遅延により一部では部分的に空きが出てきている工場も見受けられる。見積りに関しては90%以上が次年度の物件である。
旭川	・旭川、道北地区の工事は少ない。
北見	・相変わらず各社共に、鋼材・ボルトの早めの手配を余儀なくされている状況。
帯広	・稼働率は高水準が継続中。ボルトの入手難も慢性的であり、先行き不安である。
釧路	・各社満杯の状態が継続中。農業・漁業物件が多数ある。

< 北海道支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 8月分

(A)

①全構協推進事業の現状		提出日 令和元年9月9日 ②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	5日(月) 三役会・役員会 9日(火) 例会	3日(土) 溶融亜鉛めっき高力ボルト施工技術者資格認定講習会(参加者134名) 6日(火) 性能評価工場審査 1社 9日(金) 性能評価工場審査 1社 10日(土) 性能評価工場審査 1社 19日(月) 性能評価工場審査 1社
函館	2日(金) 支部例会	
室苦小樽		
旭川	5日(月) 営業担当者会議	
北見	8日(木) 第15回ビール会 20日(火) 月例委員会	
帯広	7日(水) 月例会	
釧路	9日(金) ビール会(参加者42名)	

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	1 ~ 5	90 ~ 120		○		75~220	76~180	86~210
函館	3	2 ~ 4	1 ~ 3	70 ~ 100			○	110~180	120~200	-
室苦小樽	3 ~ 12	1 ~ 6	2 ~ 3	100 ~ 120		○		130~220	120~220	-
旭川	9	4		100 ~ 100			○	100~150	100~150	-
北見		4 ~ 8		100 ~ 110		○		170~180	160~170	-
帯広	3 ~ 5	2 ~ 8	2 ~ 4	100 ~ 120		○		60~165	65~150	-
釧路	10	1 ~ 8		90 ~ 110		○		120~180	130~220	-

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・各社とも山積みが高い状況が続いている。2020年以降の物件も増加している。ただ図面の決まりが悪く工程ずれに苦慮している。 積算申し込みは夏枯れ状態。 ・共同積算: 1~8月 72,456t 年平比79% 前年比78%
函館	・各会員、稼働率に関しては高めで推移しているが、見積り量はここにきて少ないとの声もある。また、最近の鋼材・HTB等の入手難の影響か、一部ではあるが計画変更(S→RC)や延期となった物件もある。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・各工場共に、年内の山積みは100%の状況であるが、HTBに関しては相変わらず厳しい状況が続いている。
旭川	・年内の新規工事がない状況。
北見	・相変わらず設計・GCの承認遅れにより、工場の製作工程に支障をきたしている。
帯広	・稼働率に変化はないが、見積りが例年より少なくなっているFABが数社出てきている。
釧路	・各社共、稼働率が高い状態が続いている。来年度の物件情報も出てきている。

<東北支部> 状況報告書
2019年（令和元年）7月分

(A)

提出日 令和元年8月1日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○7/25 積算業務担当者会議 工場見学（㈲二唐刃物鍛造所）・納涼会	○7/10 東北鉄構連積算業務委員会（郡山）
岩手県	○7/5,7/8,7/10 性能評価（各日1社） ○7/17 県南支部会 ○7/25 盛岡支部会 ○7/28 青年部役員会	○7/9～13 超音波探傷基礎講座（多賀城）
宮城県	○7/16 役員会 ○7/17 青年部会と合同営業担当者会議	
秋田県	○7/17,19,23 工場審査3社 ○7/18 役員会・代表者会議 ○7/26 営業担当者会議	
山形県	○7/18 三役会及び役員会 ○7/24 青年部役員会	
福島県	○7/4 技術・品質サポート（2社） ○7/6 青年部役員会・暑気払い ○7/12,19 工場審査（2社） ○7/17 第2回理事会	

(B)

都道府県	①手持ち工事量（カ月）			②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造 (H+H)	S造 (コラムH)	SRC造
青森県	4～15	3～9	1～3	90～150			○	65～85	60～95	
岩手県	5～9	2～6	1～3	50～100		○		55～100	55～100	
宮城県	5～11	3～11	2～6	100～120		○		70～110	65～80	
秋田県	7～8	3～8	1～4	80～120			○	70～100	65～100	
山形県	3～12	3～10	1～4	95～130			○	70～120	70～120	
福島県	8～12	2～12	1～6	50～120		○		60～170	60～170	

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	高水準の工場稼働率を維持しつつ、グレードに関わらず見積依頼物件数は繁忙傾向と減少傾向の工場と各社ばらつきがある状況。引き続きHTB入手難の状況は改善されず、工期の設定等を調整しながら仕事を確保している。
岩手県	手持ち工事量・工場稼働率は引き続き高水準を維持するも微減傾向となった。見積申告物件数は若干改善したものの、HTB入手難が継続する中トラック輸送費が高騰してきており、大きな課題となっている。
宮城県	手持ち工事量・稼働率は高い水準を維持している。材料の納期が運搬も含めて不透明なので、注意が必要である。
秋田県	手持ち工事量、稼働率、価格に大きな変動はない、鋼材の入荷状況が悪く先行き不透明。
山形県	省内見積物件数は前月の半数であり、こども園施設が大半を占めている。鋼材の納期は不透明、HTBの入手困難、単価は落ち込んでいるし、秋以降山積み心配で厳しい状況である。
福島県	各社繁忙期に入り、格差があるものの稼働率は高水準。先月同様、秋以降の不透明感もあるが、来春以降の計画がHTB不足状態を考慮し始まっている様子。一時期仕事量が減少しても先々は悲観する必要はないよう感じる。一方、働き方改革をきちんと検討していくかないと来年以降の受注活動・製作に大きな不具合が生じるのではないかと懸念する。

<東北支部> 状況報告書
2019年(令和元年)8月分

(A)

提出日 令和元年9月3日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県		各県組合活動・行事等
青森県		
岩手県		○8/20 盛岡支部会・納涼会 ○8/30 理事会・県南支部会・組合役員と県南支部会員との意見交換会・納涼会(奥州市水沢)
宮城県		
秋田県		
山形県		○8/6,8 技術・品質サポート(2社) ○8/2,21,23 工場審査(3社) ○8/23~24 「建築鉄骨超音波探傷検査技術者」実技受験準備講習会
福島県		○8/2 技術品質サポート 1社 ○8/21 工場審査 1社 ○8/22 青年部役員会 ○8/23 いわき支部会 ○8/28 第2回営業責任者会議 ○8/30 福島支部会

(B)

①手持ち工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R·J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
青森県	5~14	3~5	4~5	80 ~ 150			○	65~80	60~100	
岩手県	3~8	3~6	1~3	90 ~ 110			○	55~100	55~100	
宮城県	7~10	3~7	2~6	80 ~ 120			○	70~90	65~100	
秋田県	7~9	3~6	1.5~5	70 ~ 110			○	65~100	65~100	
山形県	3~10	3~10	2~10	90 ~ 120		○		70~120	70~110	
福島県	8~11	3~12	1~6	80 ~ 120		○		60~170	60~170	

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	工場平均稼働率・手持工事量ともに前月同様高水準を維持したが、見積依頼物件数が大幅に減少。(過去最低) 價格は最高値に変化があったが、各社ほぼ横ばい。HTB入手難による納期不透明な状況は改善されず、今後も工期の設定等注意が必要。
岩手県	手持ち工事量・工場稼働率は引き続き高水準を維持しているが、一服感が広がっている。地場GCの仕事量が少なくなってきており、一部価格のたたき合いの気配もみられ、今後の動向に注意が必要。
宮城県	仕事量・稼働率に変化はないが、今月の県内見積依頼件数は大幅に減少。 鋼材の入手難は相変わらず続いている。
秋田県	手持工事量・稼働率・価格に大きな変動はない。物件数少なく今後の仕事量確保が心配される。
山形県	前月同様物件数は少ない。受注価格・変更追加工事の金額について「不満」との回答が多くみられ先行き不透明である。
福島県	引き続き高稼働率の状況。HTBは入手困難のまま。全般的に物件の計画・受注量が減少の感あり。来年以降の計画に期待するも受注までに至るか疑問。これまで以上に同業者間で協力しながらの受注製作活動が望まれる。

< 関東支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状			②支部活動状況			提出日 令和元年 9月6日
	各県組合活動・行事等			関東支部活動・行事等			
東京都	~16日 工場審査(3社)、17日 関東支部運営委員会、18日 全国M部会役員会、22日 M会・理事会			17日 関東支部運営委員会 開催 23日 関東支部会 開催			
千葉県	26日 三役会・働き方改革セミナー 29日非破壊検査研修会総会						
神奈川県	5日性能評価事前研修会、12日RJNグレード部会、29日県予算要望ヒアリング						
茨城県	11日茨城県中小企業団体中央会互助会理事会、工場審査2件、サポート1社 実習生(企業立入調査、技能検定試験/鉄工・溶接、巡回指導7社)						
埼玉県	7・8日(日・月) 县西支部会 17日(水) 協力会と共済委員会合同会議 3日(水) 総務委員会 19日(金) 担い手確保・育成ネットワーク幹事会 10日(水) 理事会 22日(月) 組合監査 23、25、26日(火・木・金) 工場審査						
栃木県	7/2 経営近代化委員会、7/3 技術委員会、7/10 性能評価審査(1社)、7/11 定例理事会、7/22 青年部役員会						
群馬県	12日～19日工場審査3社、24日青年部全員協議会、25日東毛支部会						
長野県	5日(金)、6日(土)、7日(日) 技能士とび実技講習会 19日(金)、20日(土)、21日(日) 技能士とび実技検定 19日(金)、20日(土)、21日(日) UT学科講習会 平成31年度前期審査受験工場1社に対するサポート1回 23日(火)第1回運営委員会 25日(木)第3回理事会						
山梨県	2日 山梨県中小企業団体中央会労働委員会 4日 工場審査サポート(H1社) 10日 東部地区溶接協会連絡会 16日 県溶接競技大会表彰委員会 " 理事会 17日 工場審査(H1社) 18日 フルハーネス型特別教育 19日 ガス溶接作業主任者講習	23日 青年部会 24日 山梨県産業技術センター運営委員会 " 溶接安全委員会 25日 教育技術委員会 26日 経営近代化委員会 30日 労働災害防止団体連絡会 他 ガス溶接技能講習(4校)					
新潟県	7/04 第1回女性部会、7/17 第2回関東支部運営委員会、第2回技術委員会 7/23 第2回関東支部会議、7/12～31 審査工場のサポート(7工場)						

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向	④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J			S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	12	6～10	2～4	90～100	○	210～260	230～300	—
千葉県	3～10	2～8	4～5	80～100	○	100～175	80～215	120～210
神奈川県	8～10	2～11	4	60～100	○	60～180	60～140	130～170
茨城県	10	3～6	3	100	○	70～100	60～100	—
埼玉県	4～9	3～8	2～5	70～100	○	80～140	75～140	—
栃木県	8～10	2～8	1～5	70～100	○	100～140	100～140	—
群馬県	4～10	3～7	1～6	80～120	○	65～150	60～150	—
長野県	8	6	5	98		95	90	
山梨県	9～14	1～9	2～3	60～100	○	80～150	80～150	100～125
新潟県	10～18	2～10	1～8	85～100	○	90～105	90～95	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	相変わらずHTBは入手困難な状況は続いている。ボルト供給不足の現象は、ボルト製造メーカーの働き方改革を実施した結果直ちに増産できない事情があり、需要が減らない限りすぐに改善されることはないと思う。
千葉県	先月と同様メッキHTBの供給不足による構造変更や工事計画中止がある。工事引合いが不安定であり、来年の動向がどうなるか見えてこない。現状の業界情報をもっと知りたい。画面承認時期を遅れないようにして欲しい。
神奈川県	耐震工事の出件は多い様子。都内の大型案件での納期遅れが多く、製作支援の話が多い。HTBの納期は1,000本ほどであれば、2ヶ月ほどの納期に縮まりつつあるが、まだまだ需給バランスは取れていない。
茨城県	・以前よりも、見積り時と受注後で大幅な図面(構造図)の変更が多めになります。HTBは、相変わらず入手困難である。 ・来年夏頃から秋の物件を見積中ですが、来年春先以降の案件は引き合いが弱い。材料調達では、現在はボルト以外は問題ないが、いまボルト問題は注意が必要である。又働き方改革における業界としての意識改革が今後のポイントである。 ・10月から11月建方の物件がようやく動き出した。ボルトも多少緩和されてきている感があり、年度末に向けて、引合いがきている。
埼玉県	今年も当組合が「埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク」の幹事の推薦を受け応諾した。引き続き関係機関と連携して業界のPRや入職促進等図っていく。
栃木県	・高力ボルト納期の影響で直近の山積みが薄い企業も出てきている。
群馬県	見積件数が少なくなっている中、材料費や工事単価が下がる傾向にある。
長野県	・ボルト供給の関係で春先から夏にかけての地元物件が、秋以降に移った(Rグレード)/M, Hグレードは、関東物件中心で地元物件は少ない。関東物件も大型物件があり、何社も集まって、1物件にあたっているケースもある。 ・忙しい傾向は、10月くらいまで。来春4月位まで新規物件は薄いのではないかと思われる。 ・東京オリンピック後のオファー少ない。 ・一般感あり、但し、来年秋以降に沢山ありそうという企業もある。
山梨県	手持ち量、稼働率で差異が出て来ている。HTBの入手次第による引合いを見込んでいたためか、見積物件が少ない。 この時期、フルハーネス、NDI-UTなど資格取得に力を入れている。
新潟県	全般的に、手持ち工事量は確保できており繁忙状態が続いている。 ただ、一部では、その先の物件の動きが見えず一段落してきそうとの情報がある。

< 関東支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 8月分

(A)				提出日 令和元年 9月6日		
都道府県	①全構協推進事業の現状			②支部活動状況		
東京都	2日鉄骨製作管理事前講習講師打ち合わせ、7日フェーズドアーテストビース製作打ち合わせ、23日関東H協役員会、27日中西地区会、29日TB3役員会					
千葉県	2日東部支部会、北部支部会、8日支部長会議、24日青年部会全体会議、29日南部支部会					
神奈川県	7日 理事会、29日 東京湾岸1都2県鉄構組合合同戦略会議					
茨城県	6日 第3回理事会、理事・役員暑氣払い、9日東関東非破壊検査研究会役員会 31~1日UT1学科講習会、その他工場審査3社サポート2社、技能実習生巡回指導					
埼玉県	8月1日(木) 県北支部会 8月8日(木) 総務委員会 8月21日(水) 理事会 8月28日(水) 第1回展示販売会打合せ会議 8月29日(木) 県南支部会					
栃木県	8/2 青年部全体会議・賛助会PR・青年部と賛助会との懇親会、 8/25 青年部家族会、8/29 フェーズドアレイ説明会、8/29 RJJN部会懇親会、					
群馬県	7日 正副理事長会議・役員会、サポート委員会					
長野県	・3日(土) 4日(日)、技術委員会 技能士とび学科講習会(1級、2級) ・10日(土) 11日(日)、構造物鉄工学科講習会(1級、2級) ・9日(金)~11日(日)、UT学科、実技講習会 ・性能評価工場審査3件					
山梨県	9日 理事会 10日 溶接JIS検定 23日 青年部会 24日 関東安全衛生技術センター 山梨出張試験 26日 経営近代化委員会 27日 教育技術委員会 28日 溶接安全委員会 29日~31日 アーク溶接特別教育 (一般+帝京第三) ・8月に実施したガス溶接技能講習 高校(6):北杜、帝京第三、笛吹、 甲府城西、農林、富士北稜 大学(1):山梨大学 ・集団健康診断の実施(計253名) (27日:都留、28日:甲府、29日:南アルプス)					
新潟県	8/08 第1回正副理事長会議 8/23 第3回出張理事会(新潟支部) 8/6~21 工場審査(7工場)					

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R+J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	12~16	6~8	3~4	60~100		○		100~120	110~130	—
千葉県	3.0	3~6	3.0	90~100		○		135~145	95~125	—
神奈川県	8~10	2~10		70~100		○		60~180	60~140	125~170
茨城県	10	3~6	3	80~100		○		70~95	60~100	—
埼玉県	4~12	3~8	2~5	70~100		○		80~210	75~220	—
栃木県	8~10	2~8	1~5	70~100		○		100~140	100~130	—
群馬県	7~14	3~6	1~5	70~100		○		60~150	55~150	120
長野県	8	4.5	4	95			○	100	95	—
山梨県	8~14	2~11	2~3	80~100			○	65~160	65~160	110~130
新潟県	5~12	2~7	1~8	70~100		○		85~90	85~95	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	高力ボルトの受注停止はなくって多少需給が緩和されてきている。加工単価は若干押し下げ傾向が強まっている。
千葉県	夏期休暇後より引合い分件が決まりだした。HTBの少量納期は2~3ヶ月納期になった。図面承認後の追加・変更が多く、対応に困惑。
神奈川県	九州、東海地方等で足許が薄い工場が増えている様子で、首都圏での値崩れが起りつつある。(中堅FAB)一方で、春先の大型案件が多くあり、強気の姿勢で挑む同業者が多い。(大手FAB)HTBの納期については、月を追う毎に改善の兆しが見えてきている様子である。
茨城県	・HTBは、相変わらず入手困難であり、地場の元受業者がかなりイラついている。特に役所物件は注意が必要。 ・保育園、老人ホームの物件が出てきている。役所物件も出てきているが、RC造が多い。ボルトが一段落してくれれば、店舗物件も春以降出できそう。
埼玉県	仕事のパートナーである運送業界も積み降ろしの待機時間と人手不足が深刻とのことである。それゆえ、我々が協力できる工場での積み込みでは配慮しようと申し合わせている。
栃木県	・高力ボルト納期は若干の改善がみられた企業もある(FBTはまだまだ不足)。受注山積み量のバラツキが出てきている。地場の見積物件が少ない。
群馬県	現状県内物件の引合が薄い。反面、来年度以降の見積案件が多くなっている。
長野県	・関東方面の引合が減っている感じがある。ボルト問題は落ち着きつつあると思われる。 ・ゼネコンによるファブ予約、図面決定遅れて建て方延びる。 ・見積少なく先行き不透明。 ・9月~12月の物件が全くない。半年後が懸念される。 ・HTB問題による工期遅延、新規物件が不明。春先までの手頃な物件が出てこない。 ・コラム造指し値下降している。
山梨県	材料が揃わざ流れが悪い状態が続いている。一部で設備の更新により増産を計画している。
新潟県	地元案件の動きが鈍く繁忙感が若干薄らいだ様子。下位グレードを中心に山積みに格差が生じてきている。 これは高力ボルトの調達難が影響しているかと思われるが、緩和の兆しが見え始めたとの情報があり、期待される。

< 北陸支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A)

提出日 令和元年9月9日

都道府県	① 全構協推進事業の現状 各県組合活動・行事等	② 支部活動状況
		北陸支部活動・行事等
富山県	5日(金) 佐藤のぶあきを励ます会 12日(金) 青年部会・第2回役員会 16日(火) 自民党富山職域支部 政談演説会 24日(水) 中川県議 議長就任祝賀会 26日(金) 建専協・全体会議、県土木部との意見交換会 29日(月) 忠政会	8日(月) 第1回北陸支部役員会、 全構協幹部との懇談会(金沢) 11日(木) 全構協・第4回理事会 12日(金) 全構協・品質管理委員会 30日(火) 全構協・技術委員会
石川県	1日(月) 建設業災害防止協会安全大会 5日(金) 佐藤のぶあき演説会 6日(土) 建築鉄骨製品・超音波技術者学科試験 12日(金) 鉄骨製作管理技術者更新講習会 18日(木) 第1回加賀支部会(小松) 19日(金) 第2回金沢支部会 20日(土) JSCA北陸部会講演会 26日(金) 前期工場審査	
福井県	11日(木) 定例三役会、定例理事会 12日(金) 福井県鉄工業協同組合連合会 50周年記念事業 17日(水) 認定期会役員会、講師例会(経営講習会) 24日(水) 臨時三役会	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R-J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～12	4～8	3～5	90～100			○	110～130	90～110	～
石川県	3～12	2～4	1～2	80～100		○		90～130	80～120	～
福井県	5～11	4～7	1～3	80～110		○		100～160	—	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大型物件を中心の大手ファブは、関東物件などもあり忙しい状態が続いている。地場物件を中心の中小ファブは、手持ちの仕事量は心配ないが、高力ボルト不足の影響か見積件数が非常に少なくなってきており、景気の後退を感じざるを得ない。
石川県	設計事務所もゼネコンも高力ボルト不足を理解して、突発的な物件発注は無くなっている。小物件については、組合員等が融通し合って何とかなっており、幾分落ち着いてきた様子。物件も徐々に動きだし、程よい稼働状況。Mグレード企業についても年内の仕事量は確保しており、鋼材価格、受注価格においても、現状維持されている。
福井県	・猛暑が続く中、各工場とも労働安全環境・健康管理に注意をしている。 ・働き方改革の波の中、製造効率と労働時間効率のバランスに苦慮している。 ・北陸新幹線延伸関連工事の話が出始めている。特に駅舎工事は、開業時期に合わせた工期と各ファブ山積みとの関係があって、十分な工期確保を念頭にしたGCとの交渉が重要になってきている。

<北陸支部> 状況報告書

2019年(令和元年) 8月分

(A)

提出日 令和元年9月9日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	7日(水) 建専協・会計監査 19日(月) 建専協・定時総会 23日(金) 青年部会・納涼懇親会 31日(土) 全青会北陸BC・第1回役員会(富山)	
石川県	2日(金) 製品検査技術者更新講習会 5日(月) 製品検査技術者更新試験 7日(水) 第3回青年部役員会 8日(木) 技術サポート制度 24日(土) 青年部BBQ会(能登) 31日(土) 青年部北陸BC会議(富山)	
福井県	1日(木) 共同受注委員会 2日(金) 青年部会例会(メッキ工場視察) 7日(水) 性能評価工場審査(M1社) 8日(木) 定例三役会、定例役員会 23日(金) 性能評価工場審査(H1社) 24日(土) 認定部会役員会	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	7～12	3～6	2～4	80～100		○		100～130	80～120	～
石川県	3～12	2～4	1～2	80～100		○		90～130	80～120	～
福井県	5～11	4～7	1～3	80～110		○		100～160	—	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大手ファブは以前ほどの繁忙感はないが、稼働率は高水準で推移している。今後の仕事量も十分に確保できている。HTB問題より、依然と解決していない「図面承認の遅延」の方が工場稼働を大きく左右している。中小ファブはHTB問題については、以前より納入状態が少しづつではあるが良くなってきており、見積も多少増えてきているが、大手との格差が鮮明になりつつある。
石川県	一休みしていた企業も今月中旬から後半にかけて本格稼動し始めた。高力ボルトについては、以前よりは落ち着いている様子。需要は堅調にあるものの昨年程ではない。工程のずれ等により月々の仕事量に波がある様子。受注価格においては現状維持されているが、今後の動向に注意が必要。
福井県	・新県知事が就任し、新年度予算による県内公共工事が動き始めているが、過年度に比べ量的に少なく各ファブとも県内外の民間工事に頼る部分が多い。民間工事は公共工事に比べて単価面で不利になることが多く、オリンピック後の民間受注単価の低下に繋がらないよう各ファブとも慎重な姿勢で受注交渉に臨んでいる。

< 中部支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状		②支部活動状況	提出日 2019年(令和元年)9月6日
	各県組合活動・行事等			中部支部活動・行事等
岐阜県	10 日 (水) 11 日 (木) 13 日 (土) 17 日 (水) 23 日 (火)	西濃支部会 岐阜支部会 東濃支部会 中濃、飛騨支部会 理事会		13 日 (土) 青年部:中部BC総会
静岡県	24 月 (水)	三役会・運営委員会・技術委員会・役員会		
愛知県	1 日 (月) 5 日 (金) 6 日 (土) 9 日 (火) 16 日 (火) 25 月 (木)	中央会:金融委員会 出席 名古屋北支部会 エンドタブ施工講習会 女性部会 技術委員会 愛知県:建設技術研修 講師派遣 H部会 運営委員会 性能評価工場審査 8件		
三重県	25 日 (木) 31 日 (水)	第4回理事会 建築専門工事業団体協議会総会・県との意見交換会 出席 構成員3社に対する性能評価サポートの実施5回		

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~8	3~9	1~8	50 ~ 130		○			55~120	
静岡県	10~12	3~11	2~3	70 ~ 120			○	90~150	80~120	
愛知県	8~15	3~9	1~3	50 ~ 110			○		70~120	
三重県	8~13	3~12	2~6	90 ~ 110		○		60~140	70~150	

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・ボルト入手について先月と変わらず各社苦慮しているようだが、今のところ対応努力により乗り切っている。 納期については、8~9ヶ月がほとんどでした。 ・ファブによって忙しいところとそうでないところが二分化されている。 ・東鉄は鋼材全面値下げの発表をしたが、商社は据え置いて様子見状態。 ・仕事量、稼働率については安定している。 ・益明けから9月にかけて建て方が非常に集中しており、フル稼働している状況です。今年12月くらいまでは仕事も埋まってきています。
静岡県	皮肉にも高力ボルトの入手難が幸いし、客先の発注タイミングが早期化している為、年内の見通しは各社目途がついている状況。今後高力ボルトの流通が改善し、短納期で入手できるようになると、顧客の発注タイミングも変わってきて、目先の山積みに戻る恐れはある。現状では、秋の消費税率UPの影響は、発注タイミングにあまり出ていないように思われる。 ボルトの納期については、相変わらず7~8か月程度要する状況。
愛知県	・高力ボルトの入手難に対しての悲痛な声は、少なくなってきた。 ・多くの構成員は、仕事量の見通しに楽観視している様子。 ・認定工場としての資格状況の維持向上のため、自社の現状を把握し、数次年間の受験計画を立てると良いと思う。 ・未だに口頭指示だけで受注し製作している構成員も散見。他産業からは信じがたい事態であろうと思われる。 ・業界の状況に対する情報が多大で交錯する中、正しい選択が要求される。仲間との頻繁な意見交換・交流の機会を増やしたい。
三重県	・全国的には首都圏を除いては仕事量は減少気味では? ・中部地区では、年末年始にかけての仕事量が少ない。 ・受注価格に下降の気配アリ→下げる努力が必要では!

<中部支部> 状況報告書

2019年(令和元年) 8月分

(A)		提出日 2019年(令和元年)9月6日	
①全構協推進事業の現状		②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等	
岐阜県	2日(金) 青年部会、先進施設工場見学会 7日(水) 西濃支部会 9日(金) 岐阜支部会 13日(火) 東濃支部会 23日(金) BJM講習会	30日(金) 鉄骨製作管理技術者勉強会 講師との打ち合わせ	
静岡県			
愛知県	9日(金) 中央会・情報研究会総会・情報連絡会議 出席 20日(火) 技術委員会 22日(木) 西三河支部会 23日(金) 東三河支部会 性能評価工場審査 2件		
三重県	・理事会 → 休会 ・性能評価審査実施 → 3社 ・性能評価サポート実施 計5回		

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~8	3~9	3~6	60 ~ 120		○			55~200	
静岡県	10~12	3~9	2~6	65 ~ 130		○		80~150	80~140	
愛知県	8~14	2~10	0.5~4	50 ~ 115			○		75~115	
三重県	8~13	2~12	2~6	90 ~ 125		○		60~150	65~150	90~160

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・来年は不安あり。設備投資、中止もしくは先送りとの話を各社聞いている。土地調達済み、設計もすでに終わっているにも関わらず中止になっている案件多数あり。 ・仕事量は順調なようです。 ・高力ボルトの問題は若干ですが回復したように感じます。
静岡県	高力ボルトの入手状況が、小ロットの場合には若干緩和してきている話も出はじめた。しかしながら、纏まったロットの場合は依然入手難が続いている模様。直接ゼネコン取引のあるファブの受注山積みについては、各社ボルトの入手可能月まで確保している模様。行政機関も入札と発注と鉄骨建方納期のタイミングに苦慮している。上工程(設計事務所、建設会社等)の人材不足の影響か、施工図の決定が遅延する傾向が強いと思われる。 秋口から先の山積みが低い傾向が見られ、来年以降の仕事量があまりないのではないかと不安視する声も上がっている。 ボルトの単価上昇が止まらず、納期が掛かるため、契約時期と納入時期の金額差がかなり出てしまう。
愛知県	・2~3ヶ月前に想定した極度多忙感には至っていない。 ・働き方改革の中でも「残業時間上限規制・年次有給休暇の取得等」が焦点である業界だが、まだまだ浸透していない。 ・日給月給制の社員や関係者の不満を解消するには、受注金額の上昇と生産性の向上が基軸の対策になるのかもしれない。 ・工程内における検査業務にかかる費用の削減と、品質確保された製品の提供の、両立に最善策はないものだろうか！ ・好景気中でも突然に端境期に急襲された時、安値受注や短納期が押し付けられ対応してしまうことを心配する。
三重県	・受注価格が下がり気味である。 ・H・T・Bの入手難について全構協としての対策を要望。

<全構協近畿支部> 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A)

提出日 令和元年 8月 8日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	19日 認定工場部会(納涼会)	
京都府	3日・5日・8日・11日・13日 工場審査 6社 23日 運営委員会 23日 中・西支部合同支部会 6日 全青会 実行委員会 30日 7月度理事会	6日 建築鉄骨製品・超音波検査技術者 試験 11日 全構協 第4回理事会
大阪府	・2日、9日、12日、16日、30日 工場審査5社 3日、5日、8日、22日、24日 工場パトロール 3日 市内支部会 5日 東支部会 25日 北支部会 16日～18日、21日～23日 UT学科講習会	
兵庫県	・2日 県議会議員意見交換会 5日 青年部会意見交換会 ・26日 三役会、理事役員会 17日、18日、23日 サポート	
奈良県	・4日、16日 工場認定サポート2社 9日 三役会 第3回理事会 18日 青年部定例会 25日 工場審査 1社	
和歌山県	・8日 近代化委員会 16日 共済推進(塗料) 26日 青年部会	

(B)

①受注物件件数(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10～12	6～8	1～4	70～100		○		75～130	70～85	～
京都府	7～12	8～9	1～11	80～110		○		80～130	80～140	～
大阪府	6～10	2～4	2～3	70～100		○		80～100	60～100	90～130
兵庫県	6～10	3～6	2～3	80～100			○	80～100	70～90	～
奈良県	～	6～8	4～7	80～110		○		90～120	80～105	～
和歌山県	8～12	6～10	4～8	80～100			○	90～120	70～100	90～120

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	工場山積みで受注残と新規受注の隙間が多くみられる。HTBはM22納期は改善しないままの状況。
京都府	高力ボルトの長納期がいまだ解消されない。引合物件の多くが半年以内の納期に対し高力ボルトの納期は8ヶ月以上と受注に向けた動きができない状況。見積物件が少し少な目な感じだが、この先2～3ヶ月ぐらいは仕事予定が入っている。年末位から年明けに向けての動きが心配である。ボルト問題が長期化し物件の動きが悪くなっている。仕事量にも格差があり伸び悩んでいる。高力ボルト次第でぶつけんは多くある。来年までは今の状況が続きそうです。
大阪府	HTBの納期が6ヶ月以上とまだ改善されていない影響もあり、現状稼働状況は少し落ち着き気味。年末から年明けにかけても受注量にはばらつきがでている模様。RCSの構造物件が多くなり、純S造及び民間中小のS造物件は減りつつある。景気も横ばい気味の為、今後の受注バランスが懸念される。
兵庫県	高力ボルトの入手難は相変わらずで早期の解消が望まれる。見積りが少なくなっているように思われる。
奈良県	地元の中小物件は減少気味。公共の改修工事等が多く発注されるも、現場の人手不足の為、対応が難しい。仕事量は十分あるものの、HTBの納期問題が続きいつになれば問題解決できるのか、心配なところ。オリンピックの関係で大型下地鉄骨が東京中心にかなり出て来ており2020年前半にかけ忙しくなりそう。
和歌山県	鋼材については、一部電炉材の安値がみられる。高炉材は高どまりしている。ボルトの状況は、依然として変わらず、供給が難しい。このところ多くの大型プロジェクトが発表され、今後の鋼材入手や人手不足の諸問題を解決していかなければならない。

<全構協近畿支部> 状況報告書
2019年(令和元年)8月分

(A)

提出日 令和元年 9月 9日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県 各県組合活動・行事等		近畿支部活動・行事等
滋賀県	21・30日 塗料販売促進のため組合員訪問	27日 全構協 運営委員会 29日 全構協 第2回近畿支部会
京都府	10日 京都南支部会 R2年青年部全国大会のお願い 7日京都府・京都市、22日京大	
大阪府	1日 工場審査 1社 6日R会第1回勉強会 21日 第2回 定例理事会 23日 南大阪支部会	
兵庫県	・令和元年前期工場審査 3社(8/2、8/6)	
奈良県	1日 共済・経営近代化委員会、5日 工場審査1社22日 三役会、24日 親子ものづくり体験教室	
和歌山県	23日 共済推進(塗料・生命)紀南地域	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	8～12	5～10	2～5	80～110		○		70～140	70～95	～
京都府	8～12	7～12	3～4	90～100		○		80～120	80～130	～
大阪府	5～9	4～6	2～3	70～100		○		80～130	70～120	90～120
兵庫県	8～10	3～6	2～3	80～100			○	80～100	70～90	～
奈良県	～	8～10	3～4	80～100		○		80～100	80～120	～
和歌山県	8～12	6～10	4～8	80～120			○	90～120	70～100	90～120

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	足元の加工状況は落ち着いている。HTBも若干だが少ロットは解消方向に向かっていいるよう に思う。今後の物件量は多少の懸念。
京都府	高力ボルトの納期が6ヶ月以上といまだ改善の兆しが見えない。年内手持ち工事量は各社有るものの見積もりが減少気味。今まで多かった宿泊施設物件も減少していると感じる。先行き不透明ではあるがあせって安値受注はしない様に努めてほしい。8月に入って見積物件が少な目である。工期の遅れ、変更などにより予定がずれ込んできている所もある。年末・年始に向けての動きが不安である。
大阪府	高力ボルトの手配は6ヶ月以上かかり、材料の調達にも左右されながら、受注量・生産量については各社ばらつき(格差)が生じている。働き方改革や人材確保・育成、労働時間など多くの課題が圧し掛かっているままだが、先行の不安(焦燥感)と、関西圏の都市再開発計画や、大阪万博特需に期待を寄せるなどの安堵感が入り混じっている。
兵庫県	延期されていた物件が動きだしてきた感がある。ボルトの入手難も相変わらずだが、サイズによつては少し納期が緩和されたとの話も聞かれるようだ。
奈良県	・仕事量は多いものの、ボルト不足が関係しており、日々の物件調整が難しくなっている。・300t以上の案件が多く、小規模物件が少ない為、後者の受注が主体のFABは問題である。・HTB入手難により、受注活動に影響が出ている。また、見積もりが少なくなったように感じます。
和歌山県	このところの景況感が鉄骨需要に影響しないか心配している。 ボルトの状況は変わらず、販売店から納期の確約がない。

<中国支部> 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A) 提出日 令和元年 8月8日

①全構協推進事業の現状				②支部活動状況							
都道府県	各県組合活動・行事等			中国支部活動・行事等							
鳥取県	9日(火) 東部支部例会			24日(水) 第3回 中国支部会(広島)							
島根県	1日(月) 工場審査2件										
岡山県	12日(金) 青年部会 19日(金) 工場審査1件										
広島県	24日(水) 鉄骨製作管理技術者 更新講習 30日(火) 第3回三役会・理事会 3,4,5,8日 工場審査サポート4件 11,12,16~19,22日 工場審査7件										
山口県	6日(土) 自動CAD・BIM講習会(青年部主催)										

(B)

都道府県	①手持工事量(か月)			稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	5 ~ 12	3 ~ 7	7 ~ 9	90 ~ 110			○	85~110	60~100	-
島根県	9	3 ~ 7	1 ~ 2	70 ~ 100		○		100~130	80~135	-
岡山県	10 ~ 12	4 ~ 12	3 ~ 5	90 ~ 100			○	60~80	60~80	100~120
広島県	9	5 ~ 8	1 ~ 7	40 ~ 120			○	60~120	60~110	-
山口県	10 ~ 12	2 ~ 12	0 ~ 1	10 ~ 120		○		90~120	100~140	150~170

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	HTBの納期不安定のため稼働率低下のファブもあるが、秋口には繁忙状況となる模様。 各社概ね3か月程度の工事量を確保しており、受注は比較的安定している。 見積依頼件数がめっきり減少しており、HTBの納期もあって年末から年明けの受注工事の決定が進まない。 鋼材価格も弱含みで推移しており、この状況は年末まで持続しそう。 HTBの納期不安定は、少しづつ鎮静化に向かいつつあると思われるが、手配漏れが出ぬよう納期確認が必要。
島根県	仕事は少し落ち着いていたが、9月頃から稼働率は上昇見込。小規模物件が中心だが、年内の仕事量は確保できる模様。 HTBの供給問題は解消されず工事遅れや受注断念が出ており、年明け以降の先行き不透明感が漂っている。 また、来年4月から「働き方改革関連法」が中小企業にも適用されることもあり、会員から「生産性向上に向けた省力化」についての講習会・勉強会の開催要望が出ている。
岡山県	盛夏の頃であるが相変わらず各社共に順調な様子である。只、公共工事に関してボルト問題による発注中止のケースが多発している。 これは単独、補助事業を問わず繰越しを認められないため、発注者が予算執行を躊躇し、事業自体の中止、あるいはコンクリート、木造等への材質を変更した発注に切り替えてる事に起因する事態である。 国が、予算執行の特例措置等を講じない限り、今後、コンクリートあるいは木造等の実績が蓄積され、将来、S造の市場を圧迫する可能性がある事態であると認識しており、全構協においても、大事件であることをしっかりと理解し、適切に行動頂きたい。
広島県	回答企業の6割が稼働率100%以上で、依然として高い稼働率が維持されている。 手持ち工事量については減少傾向にあるが、R・Jの一部ファブを除き、概ね年内まで確保されている。 一方、ボルト問題は、ピークを過ぎた感はあるが、下位グレードを中心に依然として解消されず、小規模物件の受注見送り等が報告される。 加えて、地場ゼネコンを中心に物件や見積の減少傾向が続いている事実を訴える声がでている。
山口県	現状は「受注物件数及び見積件数がやや増加してきた」「忙しくしている」というファブと「中だるみのような感じであまり忙しくない」「公共及び民間工事が少なく厳しい状態」というファブに分かれている様子。 鋼材価格が一時的に値下がりしているようだが、工事価格に影響は無いとみられる。ボルト不足の影響で、設計時点でのボルト納期に応じた計画・準備をする物件が多くなり、ファブ同士で仕事をやり取りしている地域もある。 輸送費が値上がりしているため、「工事価格に上乗せするようにした」「交通便の悪い遠方の受注は控えている」との声もある。 今後の見通しは、年内の大型新規工事が始まっているため、来春以降は工事量も増えるだろうと予想している。

< 中国支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 8月分

(A)

提出日 令和元年 9月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中国支部活動・行事等
鳥取県	7日(水) 理事役員会・次世代の会例会、合同懇親会 9日(金) 東部支部例会	27日(金) 全構協 運営委員会(東京)
島根県	1日(木) 第4回役員会	
岡山県	1日(木) 理事会	
広島県	29日(木) 鉄骨技術研究開発 実験見学会(広島工業大学)	
山口県	9日(金) 第3回理事会、青年部役員会 8日(木) 工場審査サポート 23日(木) 工場審査	

(B)

①手持工事量(か月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	3 ~ 11	3 ~ 6	1 ~ 2	80 ~ 110		○		80~120	70~100	-
島根県	8	2 ~ 6	1 ~ 2	50 ~ 100		○		100~130	80~135	-
岡山県	6 ~ 12	4 ~ 12	3 ~ 5	80 ~ 100			○	60~85	60~85	100~120
広島県	8 ~ 10	2 ~ 7	1 ~ 4	50 ~ 100			○	60~115	60~110	-
山口県	10 ~ 14	3 ~ 9	2 ~ 3	80 ~ 120		○		100~125	95~105	145~155

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	HTB納期に合わせた工事受注のため繁忙状態が安定しない。 見積り件数は、今月に入り、100トン以下の小物件を中心に増加はじめた。 来年に向けては、予定工事も数件あり、仕事量はそこそく確保されそうな予想。 鋼材価格も安定しており、今後の動向を注視して受注する必要がある。
島根県	落ち着いていた稼働率も、9月頃から上昇する見込みで、小規模物件を中心だが、年内の工事量は確保できる模様。 一方、HTBの需給ひっ迫状況は依然として改善されず、結果として工事遅れや受注断念も解消されていない。 年明け以降に向けての先行き不透明感は持続している。
岡山県	首都圏の物件に関わるHグレード等は、数年のバックオーダーを持ち順調である。 一方、地元物件中心のM以下では、夏枯れの要素に加え、ボルトの品薄による受注回避で、工場製作にかなりの余裕(空き)が生じておりボルト問題による危機は、解消されず現在進行形である。 全構協において、中央省庁に地方の現況をしっかり伝え、解決策が講じられるよう、一層の尽力をお願いする。
広島県	稼働率は、回答結果中、100%の企業は3割に減り、80~90%の企業が6割を占め、以前の繁忙期から一段落。 手持ち工事量は、H・Mでは年内以上確保されているが、R以下では、回答の半数が、2月以下と顕著な格差が出ている。 ボルト問題は、全体としては明らかに解消に向かっているが、一部では改善の実感がないと訴えるファブもある。 一方、仕事量の落ち着きとともに、ボルトの納期長期化が適正な工程管理を可能にしているとの報告もある。 物件や見積の減少傾向は拡大気味で、先行きの不安を訴える声が増加している。 また、ゼネコンが安値競争に突入したので、巻き込まれぬよう注意喚起を促す声もあがっている。
山口県	先月は端境期で厳しい状況と話すファブもいたが、今月は受注物件数、見積件数ともに若干増加しており、各社忙しくしている様子。 鋼材価格の一時的な値下がりも落着き始め、工事価格の変動も少ないが、輸送費や副資材、消耗品等の価格上昇が懸念される。 来年夏以降納期の物件で営業中だが、高力ボルトの納期短縮が見込めないため、受注目途は、建方納期が来年10月以降の物件と話すファブもいる。

< 四国支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 7月分

(A)

提出日 令和元年 8月 吉日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	1日(月) 鉄工技能(実技)講習会 5日(金)・6日(土) AW検定準備講習会 16日(火) 理事会・第4回情報交換会	5日(金) 四国支部会
香川県	2日(火) 性能評価工場審査サポート 10日(水) 第三回理事会 16日(火) 三立鉄工工場審査サポート 17日(水) 工場審査 18日(木) 工場審査 24日(水) 高松支部会	
愛媛県	4日(木) 東予地区会 18日(木) 理事会	
高知県	11日(木) 中央会講習会 25日(木) 認定サポート	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 8	2 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 120			○	65 ~ 115	65 ~ 115	~
香川県	1 ~ 1.5	3 ~ 7	~	80 ~ 150			○	55 ~ 80	60 ~ 105	80 ~ 95
愛媛県	6 ~ 8	4 ~ 6	2 ~ 6	90 ~ 100		○		50 ~ 100	50 ~ 100	~
高知県	6 ~	3 ~ 9	1 ~ 3	70 ~ 100		○		50 ~ 100	50 ~ 100	~

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	県内物件の見積りは、少ない状況が続いている。受注量に格差があるものの、ほとんどの工場の稼働率は100%となっている。秋以降は、不透明で不安がある。
香川県	前月に引き続き県内見積件数は少ない。しかし、県外物件見積もりは多くMグレードで7ヶ月程度受注確保しているFABもあり、全体的に足元の稼働率は、まづまづの状況にある。ただ、地場物件の今後の見通しはあまり期待できないと言う声も出ている。
愛媛県	・受注状況では各グレードとも9月から年内または来年初まで確保、稼働率についても就業時間内100%の所が大半である。 ・高力ボルトについては1月に発注したボルトが今現在入荷してとても忙しい。今後の入荷状況についても年内一杯はかかるとの認識が多いが、状況は緩んでおり大分改善したとの見方も出ている。(Jグレード～Mグレード)
高知県	見積件数は前月より引き続き増加傾向にある。Rグレードの一部では稼働率の低いFABがある。

< 四国支部 > 状況報告書

2019年(令和元年) 8月分

(A)

提出日 令和元年 9月 9日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	3日(土) ゴルフコンペ 6日(火) 大日本塗料・ダイニッカとの塗料会議 7日(水) 第5回情報交換会 7、26日 鉄工技能(学科)講習会 5, 9, 19日 AW講習会	
香川県	5日(月) 西讃支部会 7日(水) 理事会 8日(木) ダイニッカ塗料検討会 28日(水) 後期工場審査打合せ 31日(土) 中讃支部会	
愛媛県	3日(土) 青年部例会 8日(木) 東予地区会	
高知県	1, 6, 7, 8, 16日 認定サポート 6, 8, 20, 21, 23日 工場審査 29日(木) ダイニッカ	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R+J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 8	3 ~ 4	1 ~ 3	80 ~ 100			○	55 ~ 110	55 ~ 100	~ 115
香川県	~	2 ~ 6	~	90 ~ 100		○		55 ~ 100	60 ~ 105	~
愛媛県	5 ~ 8	3 ~ 5	1 ~ 5	90 ~ 100		○		50 ~ 100	50 ~ 100	~
高知県	6 ~	3 ~ 9	1 ~ 3	70 ~ 100		○		50 ~ 100	50 ~ 110	~

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	8月も物件報告は、少ない状況が続いている。特に県内物件は少ない。Mグレード数社とHグレードは、県外工事をしているので手持ち工事量も多い状態が続いているが、Rグレード以下は、小型物件も少なく先行き不透明。
香川県	前月に引き続き県内県内市況はあまり変わりはないが、高力ボルトの不足感はFAB間で格差はあるが若干弱まった感がある。しかし、県内見積件数は少なく県外物件見積もりは出ておりMグレードで7ヶ月程度受注確保しているFABもあり全体的としての足元の稼働率は、まずまずの状況にある。ただ、地場物件の今後の見通しはあまり期待できないと言う声も出ている。
愛媛県	・先月同様、各グレードとも現状稼働率は100%に近い状況にあり、手持ち工事量も秋口から年内一杯まで確保 ・働き方改革に関連して、地場ゼネコンでも土曜日の現場全休日が月一から月2日以上に増えており、組合員にも従業員の休日・有給の増加を検討する動きが出ている。
高知県	価格は横這い傾向が続いているが一部下がり気味のFABがある。先行き不安を感じているFABも増加した。

<九州支部> 状況報告書

2019年(令和1年)7月分

(A)

		提出日 令和1年8月5日
①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・1日(月)、3日水)性能評価工場審査 ・10日(水) 経営対策委員会 ・18日(木) 理事会・例会(全体会議)	7/6 製品・超音波学科試験 7/12 支部事務局会議
佐賀県	7/3・5・10 性能評価工場審査(M2社・R2社) 7/8 工場審査サポート 7/24 第3回 定例理事会	
長崎県	7/10 長崎県建築鉄骨研究会 第2回専門委員会 開催 7/17 第3回理事会、7月例会、「働き方改革」講習会	
熊本県	7月4・5・11・18日性能評価勉強会開催、24日理事会・定例会開催	
大分県	7/6超音波学科試験 7/18工場審査事前打合せ 7/19UT探傷器操作指導 7/23三役会・理事会・認定部会 7/31工場審査事前打合せ	
宮崎県	(5・11・18)認定指導 (8・9)UT学科対策講習会開催 (19・22・24)安全バトロール5社 16(火)第2回理事会 (26・30)認定審査立会業務 26(金)自民党県連主催 国・県に対する要望事項ヒアリング会同懇親会出席	
鹿児島県	9日性能評価支援バトロール 11日鹿児島支部日鉄ボルテン㈱行橋工場見学会 18日青年部会役員会 20日三役会 30日性能評価工場審査	
沖縄県	・7/2日:定例理事会、11日:定例営業部会、8日・11日:組合工場安全バトロール、16日:性能評価新規申請工場サポート、26日~31日:性能評価審査工場サポート(H及びRグレード)	

(B)

都道府県	①手持工事量(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	6 ~ 12	4 ~ 6	1 ~ 3	100			○	90~120	90~120	—
佐賀県	6	3 ~ 10	1 ~ 5	80~100			○	80~90	80~110	—
長崎県	7 ~ 9	4 ~ 8	—	80~100		○		100~140	90~140	—
熊本県	5 ~ 6	2 ~ 3	2 ~ 3	91.5			○	70~80	80~90	—
大分県	7 ~ 12	3 ~ 5	—	80~90		○		100~110	80~110	—
宮崎県	7 ~ 11	5 ~ 6	1 ~ 3	70~120		○		70~90	60~100	—
鹿児島県	6 ~ 18	1 ~ 6	1 ~ 2	80~100		○		90~120	65~120	—
沖縄県	3 ~ 4	2 ~ 3	1 ~ 2	90~100		○		110~120	90~120	—

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	手持工事量は順調に推移しているが、依然として高力ボルトの不足により受注に影響している。(特に小規模の工事)
佐賀県	・最近、見積が減少している。先行きに不透明感有り。 ・年内の仕事量は確保しているが、見積が少なく来年度は仕事量が少なくなりそうだ。
長崎県	受注に際し、GCからの金額交渉が厳しくなってきている。(気のせい?)見積り量自体は少なくは無いが 計画見積りやRC造への変更になる物件もあり先の見通しとしては明るくないのではないか。
熊本県	見通し不明
大分県	◎年内の工事量確保。ボルトの手配に苦慮。◎仕事量は年末くらいであるが、図面の承認遅れや段取りがうまく進まない。◎来年の工事も大型物件が出てきているので当分は忙しい状況は変わらない。ボルトが若干余裕が出てきている。
宮崎県	工事量は安定しているものの、ボルトの納期の問題で工期に影響が出ている。また、今後はガソリン価格や鋼材価格の動向に注意が必要。
鹿児島県	チェックバックが遅すぎて仕事が隙間だらけ、HTB問題と相まって最近いいところ無し! 大型物件は2年先の話もあるが、地場の中型物件が少ない。
沖縄県	・ボルトの納期から10ヶ月程度以上先の案件しか営業できない状況は厳しい。

<九州支部> 状況報告書

2019年(令和1年)8月分

(A)		提出日 令和1年9月4日
①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・24日(土) 青年部会例会 ・26日(月) 福岡県建築鉄骨協議会	8月21日 第3回全構協九州支部理事会・懇親会
佐賀県	8/28・29豪雨による組合員工場の状況確認及び被災した工場の現状確認	
長崎県	・8/22 青年部 令和元年度 第2回役員会・例会 開催 ・8/27 長崎県鉄骨研究会 第1回作業部会 ・8/31 溶接技術講習会 開催(9/21 長崎県溶接技術競技会に向けて)	
熊本県	8/21 理事会・定例会 8/24 青年部幹事会 8/26 鉄骨問題協議会技術委員会	
大分県	8/5、8/6工場審査直前打合せ、8/7、8/9工場審査、8/30青年部会	
宮崎県	(2)認定審査立会業務 (6)青年部会三役会議 (24)青年部会第3回幹事会・懇親会(賛助会員含む)	
鹿児島県	2日性能評価工場審査 3日中央会青年部会ボランティア活動参加 30日青年部会役員会 31日青年部会ファミリーレクリエーション	
沖縄県	・8/5日:定例理事会、6日:性能評価審査工場支援、8日・9日:性能評価工場審査(審査工場:3社)、13日:定例営業部会	

(B)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
福岡県	6 ~ 12	4 ~ 6	1 ~ 3	100			○	90~130	90~120	—
佐賀県	7	3 ~ 8	2 ~ 5	80~100			○	80~100	80~110	—
長崎県	7 ~ 9	4 ~ 8	—	100			○	100~140	90~140	—
熊本県	6 ~ 8	3 ~ 7	3 ~ 7	91.3			○	80~90	70~110	—
大分県	5 ~ 11	3 ~ 4	—	80~100		○		105~110	80~100	—
宮崎県	6 ~ 12	5 ~ 6	1 ~ 3	70~120		○		70~90	60~100	—
鹿児島県	7 ~ 15	1 ~ 6	2 ~ 4	80~110		○		90~135	65~150	—
沖縄県	3 ~ 4	2 ~ 3	1 ~ 2	90~100		○		110~120	90~120	—

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	手持工事量は順調に推移しているが、見積物件の届け出は少ない。
佐賀県	・ボルト問題により、見積りが少なくなっている。特に小物件が少ない。 ・ボルトの納入時期が不明確であり、今の状況がいつ頃まで続くのか正確な情報が欲しい。
長崎県	大型物件も出ており一見すると好況で推移しているように見えるが、中小規模の物件の回転が悪い。 官公庁、民間ともに見積もり件数が減っている。増税に伴う一時的な現象であることを願う。
熊本県	熊本県は物件数が多いと思われる。現在は再開発事業が継続的に出ている。
大分県	◎先月末では空いている工場もあったが今月より仕事量も増加し、12月末まではほぼ満杯の状態である。3月末までこの状態が続くと思われる。◎2020年7月末まではほぼ100%入っている。2021年も大型物件が出る予定。◎ここ2ヶ月動きが悪かったが、忙しくなりそう。
宮崎県	グレード・地域に拘わらず手持工事量は安定しているが、今後は消費税増税の影響やボルトの納期の問題もあり不透明。
鹿児島県	ボルト不足に対し工期延長を理解してくれる現場もあるが、相変わらず品不足の改善が見られず先行きが不安。年明けの仕事への動きが全く無く、受注が2~3ヶ月前と同じ状況。
沖縄県	・仕事量・工場稼働率に大きな変動はない。ボルト納期を基準に工期の設定や調整をするなど、今後の受注量の落ち込みを危惧している。

賛助会員企業・団体との懇談会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会

場所：鉄鋼会館 802号室

日時：2019年9月19日(木)

15:00～16:30

1. 全構協 米森会長挨拶

2. 出席者ご紹介

3. 懇談会

(1)全構協の概況、ファブ業界の状況

- ① 足元のファブ業界の動向(今後の見通し)
- ② 全構協の概況
 - ・構成員状況、事業内容(計画)
- ③ 各地区の概況
 - ・各地区の状況、各地区の活動

(2)賛助会員各企業様からのご意見、ご質問について

(3)賛助会員(各分野)の皆様に対する要望・要請事項

◎ 懇親会

- ・時間：16:30～18:00 (予定)
- ・場所：鉄鋼会館 704号室

以上

賛助会員との懇談会（懇親会）出席者名簿（賛助会員）

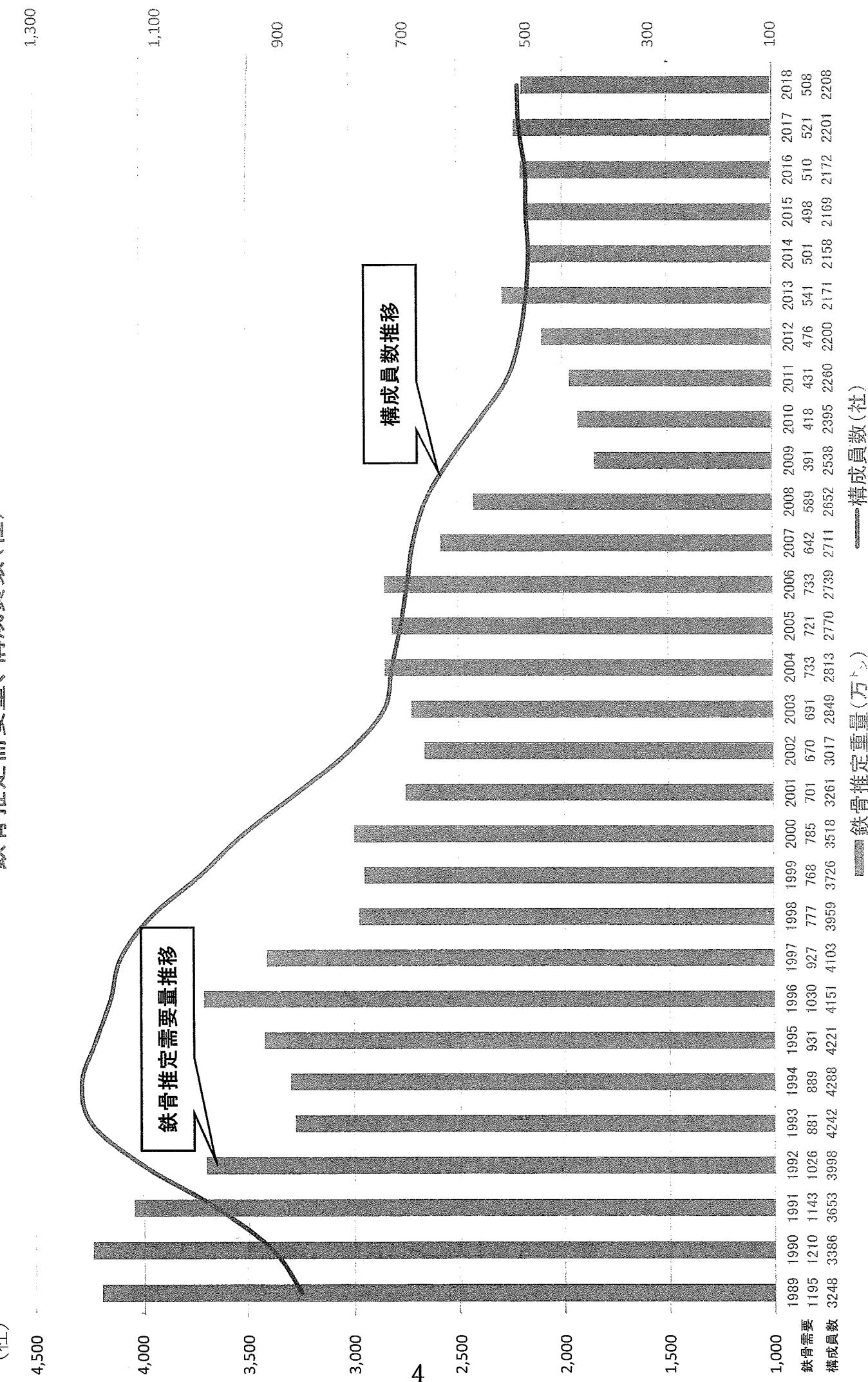
<＊社名五十音順>

会 社 名	氏 名 (敬称略)	懇談会	懇親会	備 考
賛 助 会 員 株式会社アマダマシンツール	吉 田 正 憲	出	出	
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	加 藤 靖 広	出	出	
岩上鋼材株式会社	新 井 貴 光	出	欠	
エムエム建材株式会社	菅 原 二 康	出	出	
王子製鉄株式会社	一	欠	欠	
株式会社神戸製鋼所	茨 木 久 晴	出	欠	
J F E 建材株式会社	沖 健	出	出	
J F E 商事鉄鋼建材株式会社	仲 浩 昭	出	出	
J F E スチール株式会社	中 村 紀 彦	出	出	
神鋼ボルト株式会社	小 名 雅 典	出	出	
新東工業株式会社	須 永 高 志	出	出	
株式会社スノウチ	中 條 亜 里 沙	出	出	
住友生命保険相互会社	高 本 達 実	出	出	
株式会社セイケイ	金 子 智 宏	出	出	
第一生命保険株式会社	山 本 宏	出	出	
大東精機株式会社	西 田 寛	出	出	
大同生命保険株式会社	古 田 浩 之	出	出	
ダイニッカ株式会社	岡 部 祥 司	出	出	
大日本塗料株式会社	二 宗 政 行	出	出	
一般社団法人鉄骨建設業協会	一	欠	欠	
株式会社トーネジ	古 藤 和 生	出	出	
日鉄エンジニアリング株式会社	一	欠	欠	
日鉄建材株式会社	赤 丸 一 朗	出	出	
日鉄物産株式会社	上 田 源 次	出	出	
日鉄ボルテン株式会社	前 川 三 貴	出	欠	
一般社団法人日本鋼構造協会	一 戸 康 生	出	出	
日本製鉄株式会社	白 井 輝 幸	出	出	
日本ファスナー工業株式会社	金 久 保 孝 治	出	出	
一般財團法人日本溶接技術センター	一	欠	欠	
一般社団法人日本溶接協会	水 沼 渉	出	出	
一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会	一	欠	欠	
阪和興業株式会社	滝 田 憲	出	出	
フルサト工業株式会社	福 間 弥	出	出	
株式会社丸杉	伊 藤 裕 治	出	出	
出席		29	26	

賛助会員との懇談会（懇親会）出席者名簿（全構協）

組織／役職		(支部)	氏名(敬称略)	懇談会	懇親会	備考
全構協	三役	会長	米森昭夫	出	出	
		副会長	村山功	出	出	
		副会長	永井毅	出	出	
		副会長	高橋伸和	出	出	
理事		支部長 北海道	中村泰男	出	出	
		" 東北	渡辺勝	出	出	
		" 関東	大竹良明	出	出	
		" 北陸	西村仁	出	出	
		" 中部	大島嗣雄	出	出	
		" 近畿	伊藤佳治	出	出	
		" 中国	山本泰徳	出	出	
		" 四国	井原常裕	出	欠	
		" 九州	神崎隆一 齊藤眞	出 出	出 出	
事務局		専務理事	辰巳功	出	出	
		常務理事(事務局長)	大橋利勝	出	出	
		技術部長	高野昭市	出	出	
		総務部長	平井直樹	出	出	
				18	17	

鉄骨推定需要量、構成員數(社)



【 9月19日 懇談会用資料 】

ご意見（要望）等 事前提出シート

- ・懇談会をより有意義なものとするため、事前にご意見等の提出をお願い致します。
- ・9月19日当日は、皆様から頂いた意見を参考にしながら、懇談会を進めさせていただきます。
(※ 集約・整理の都合上、簡潔にまとめていただき、可能な限り電子データでご返送下さい。)

1) ご記入者（情報）

- ・企業・団体名（部署）：
- ・お名前（役職）：

2) ご意見（提言）・要望

◎”貴業界の状況（動向）”、“全構協との連携”、“全構協への要望”等の視点でご記入下さい。

①貴業界の状況・動向、サービス提供・需給上の課題 ※全構協<ファブ業界>への情報提供

②全構協との連携の在り方について ※全構協へのお願い、要望

*お願い： 9月13日（金）までに、ご返信下さい。

返信先：全構協総務 平井 ⇒ E-mail : somu@jsfa.or.jp / FAX : 03-3667-6960

以上

全構協・青年部会 意見交換会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協會

場所: 鉄鋼会館 801号室

日時: 2019年9月20日(金)

13:00～16:00

1. 全構協 米森会長挨拶

2. 出席者ご紹介(名簿)

3. 意見交換会

(1) 全構協 事業概況 説明

① 事業概要、2019年度事業計画

② 現在取組んでいる(進行中の)事業、喫緊の課題・テーマ

(2) 現在及び今後の、県単位、ブロック単位の青年部の活動状況

① 事業内容について

② 青年部活動を実施して行く上での、課題・悩み、水平展開

(3) 今後の人材確保と人材育成・教育 ※人材に関する多角的視点で

① 「人材確保」 (※「働き方改革」、「女性活躍」、「外国人労働者」等)

② 「人材育成・教育」 (※「教育・研修」、「技能資格」、「技能伝承」等)

(4) ファブ業界の発展に向けて、今取組むべき課題の抽出

① 経営力・経営基盤の強化

② 業界の地位向上、その他

◎懇親会

・時間 : 16:00～18:00 (予定)

・場所 : 鉄鋼会館 701号室

以上

全構協・青年部会 意見交換会（懇親会）出席者名簿（全構協）

組織／役職		(支部)	氏名(敬称略)	意見交換会	懇親会	備考
全構協	三役	会長	米森昭夫	出	出	
		副会長	村山功	出	出	
		副会長	永井毅	出	出	
		副会長	高橋伸和	出	出	
理事	理 事	支部長 北海道	中村泰男	出	出	
		" 東北	渡辺勝	出	欠	
		" 關東	大竹良明	欠	欠	
		" 北陸	西村仁	欠	欠	
		" 中部	大島嗣雄	出	出	
		" 近畿	伊藤佳治	出	出	
		" 中國	山本泰徳	出	出	
		" 四国	井原常裕	欠	欠	
		" 九州	神崎隆一 齊藤眞	出 出	出 出	
事務局	事務局	専務理事	辰巳功	出	出	
		常務理事(事務局長)	大橋利勝	出	出	
		技術部長	高野昭市	出	出	
		技術部部長	千田光	出	出	
		総務部長	平井直樹	出	出	
				16	15	

全構協・青年部会 意見交換会(懇親会) 出席者名簿(青年部会)

支部	県No.	都道府県	青年部会出席者	会社名	グレード	役職	意見交換会	懇談会	備考
北海道	1	北海道	高田 知明	北榮興業(株)	H	代表取締役社長	出	出	
東北	2	青森	工藤 保	(株)工藤鐵工建設	M	代表取締役	出	出	
	3	岩手	齋藤 達也	安代鉄工所有	M	専務取締役	出	出	
	4	宮城	中辻 淳	正和工業(株)	H	専務取締役	出	欠	
	5	秋田	粟津 憲靖	(株)粟津鉄工建設	M	代表取締役	出	出	
	6	山形	渡邊 進	(株)メタルプロダクツ	R	代表取締役社長	出	出	
	7	福島	北瀬 真紀	鈴機工業(株)	M	常務取締役	出	出	
	8	茨城	鈴木 匡明	鈴木鉄工建設(株)	M	営業部	欠	欠	
関東	9	栃木	小松 芳充	(株)小松鐵工所	未	代表取締役	出	出	
	10	群馬	紺野 正弘	(有)紺野鉄工所	R	専務取締役	出	出	
	11	埼玉	島田 興造	(株)清水スチール	M	代表取締役社長	出	出	
	12	千葉	葉佐 藤雅和	(株)佐藤熔接工業	M	専務取締役	出	欠	
	13	東京	松田 一朗	松田鋼業(株)	H	代表取締役社長	出	出	
	14	神奈川	田中聰	(有)田中工業所	M	代表取締役	出	出	
	15	新潟	古川 勇人	(株)古川広吉鉄工所	M	代表取締役	出	出	
	19	山梨	今村 康則	(株)住吉鉄工	M	代表取締役	出	出	
	20	長野	宮下 健	(株)宮下鉄工	M	代表取締役	出	出	
	16	富山	山中二郎	萩浦工業(株)	H	係長	出	出	
	17	石川	並田 忠政	(有)並田工建	R	代表取締役	出	出	
	18	福井	田崎 肇	田崎鉄工(株)	H	専務取締役	出	出	
中部	21	岐阜	岩井 康志	三星工業(株)	H	代表取締役	出	出	
	22	静岡	中尾 博之	(株)中尾建設工業	M	取締役設計部長	出	出	
	23	愛知	安藤 超	安藤鉄骨工業(有)	R	取締役	出	出	
	24	三重	渡邊 純平	(株)渡辺鉄工	M	専務取締役	出	出	
近畿	25	滋賀	西川 雅人	鍛冶大鐵工	未		出	出	
	26	京都	松田 長水	(株)マツダ	R	専務取締役	出	出	
	27	大阪	横内 聰	(株)横内鐵構	M	代表取締役	出	欠	
	28	兵庫	塩津 和馬	平松工業(株)	H	代表取締役専務	出	出	
	29	奈良	抜居 刚	(株)杉本鉄工所	M	部長	出	出	
	30	和歌山	北村 隆典	北村鉄工(株)	H	代表取締役	出	出	
中国	31	鳥取	高橋 健二	(株)高橋	M	専務取締役	出	出	
	32	島根	桑原 謙二郎	(株)光技研	R	代表取締役	出	出	
	33	岡山	山西原 一成	(株)西鉄	H	代表取締役	出	出	
	34	広島	川野 法幸	境谷工業(株)	M	取締役工場長	出	出	
	35	山口	藤村 吉孝	藤村鉄工(有)	R	設計主任	出	出	
四国	36	徳島	杉友伸康	大伸工業(有)	R	代表取締役	出	出	
	37	香川	谷本 匡朗	四国建築鉄工(株)	M	次長	出	出	
	38	愛媛	鎌田 哲圭	(株)鎌田工業	R	取締役専務	出	出	
	39	高知	野島 由光	(有)野島鉄工所	未	代表取締役	出	出	
九州	40	福岡	古賀 道夫	(株)筑邦製作所	M	専務取締役	出	出	
	41	佐賀	澤野 聰	澤野建設工業(株)	M	専務取締役	出	出	
	42	長崎	境貴幸	(有)境鉄工所	M	専務取締役	出	出	
	43	熊本	黒田 大輔	(株)黒田建設工業	M	代表取締役	出	出	
	44	大分	中野 大輔	(有)中野鉄工所	J	代表取締役	出	出	
	45	宮崎	黒木 洋信	(有)シシワ鐵工	R	代表取締役	出	出	
	46	鹿児島	三石 宏幹	(有)三石建設工業	M	代表取締役	出	出	
	47	沖縄	立尾 一史	金秀鉄工(株)	H	工事部課長	出	出	
全青会	会長	中原 稔	宏和工業(株)	M	代表取締役	出	出		
	理事	池田 和隆	池田鉄工(株)	M	代表取締役	出	出		
全体							48	45	

(万t/年)

鉄骨推定需要量、構成員数(社)

1,300

(社)

1,100

900

700

500

300

100

4,000

3,500

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

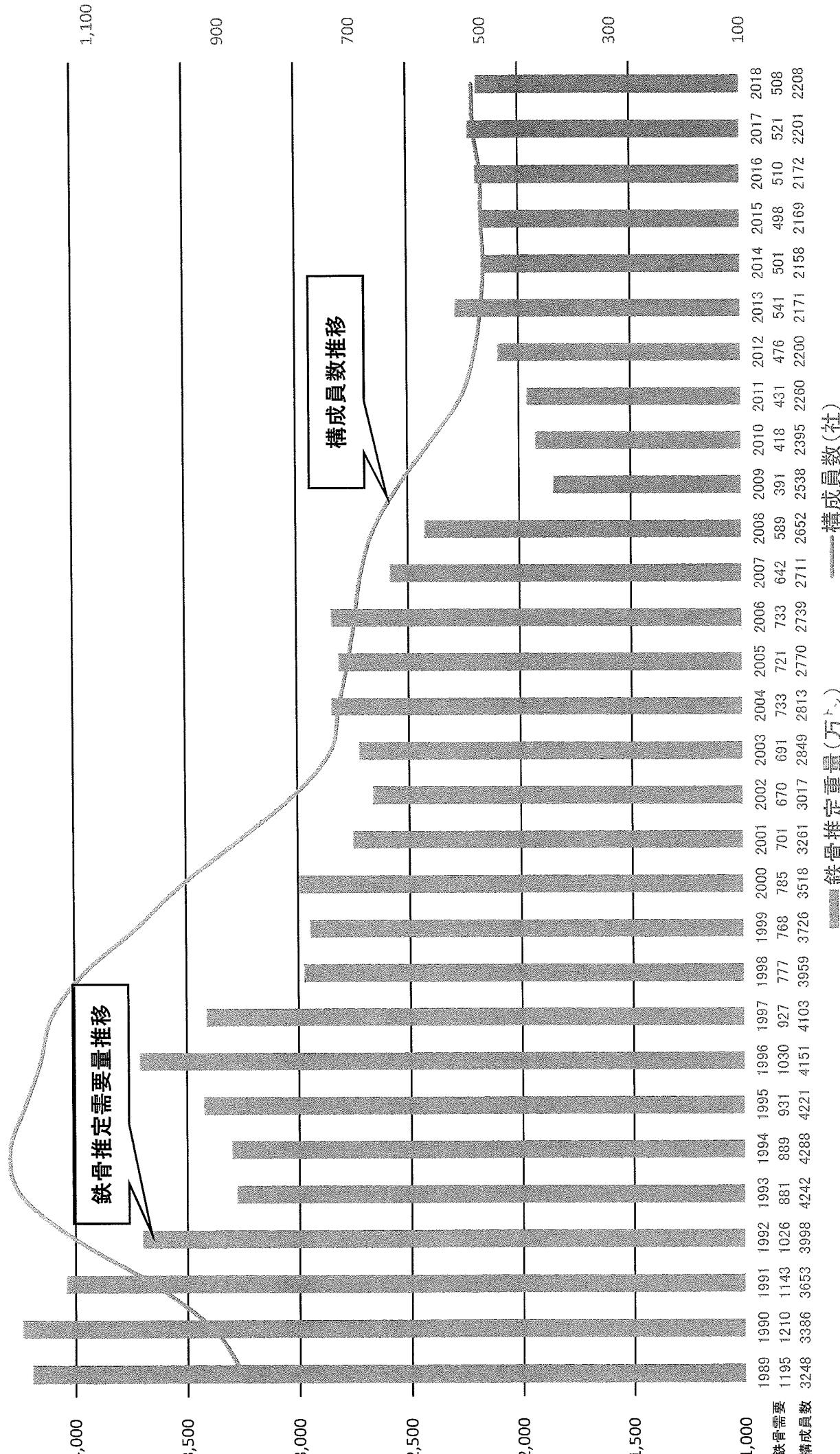
4

鉄骨推定重量(万t)

構成員数(社)

鉄骨推定需要量

構成員数推移



	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
鉄骨需要	1,195	1,210	1,143	1,026	881	889	931	1,030	927	777	768	785	701	670	691	733	721	733	642	589	391	418	431	476	541	501	498	510	521	508
構成員数	3,248	3,386	3,653	3,998	4,242	4,288	4,221	4,151	4,103	3,959	3,726	3,518	3,261	3,017	2,849	2,813	2,770	2,739	2,711	2,652	2,538	2,395	2,260	2,200	2,171	2,158	2,169	2,172	2,201	2,208

意見交換会 アンケートシート

- ・9月20日の意見交換会を踏まえ、あらためてご意見、要望、提言等をご提出下さい。
- ・頂戴したご意見等は、全構協内で検討させて頂くとともに、今後の相互連携活動の中で活用させていただく予定です。

1) ご記入者（情報）

- ・都道府県 :
- ・お名前 :

2) ご意見、要望、提言

①意見交換会の感想

②（当日の内容を踏まえ）全構協との連携活動についての、意見・要望・提言

③原価管理の実施状況及び「原価管理（実践）講習会」の実施に向けて

- a. （過去実施した「原価管理実践講習会」を踏まえ）現在の原価管理の実施・定着状況
- b. 今後、あらためて「原価管理講習会」を実施する場合の、実施に関する提案・提言

* お問い合わせ : 10月4日（金）までに、ご返信下さい。

返信先 : 全構協総務 平井 ⇒ E-mail : somu@jsfa.or.jp / FAX : 03-3667-6960

以上

全構協 推進事業（課題・テーマ）

決定機関	諮問・検討機関 (委員長/GL)			事業（課題・テーマ）
総会－理事会	特別 委員会	企画 委員会	村山副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・<将来ビジョン全般>
		教育・人材育成 委員会	高橋副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・新入教育用マニュアル
		品質管理 委員会	永井副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・<品質管理全般>
	常設 委員会	運営 委員会	大島理事	<ul style="list-style-type: none"> ・<会員共益全般> ・働き方改革対応 ・後継経営者・幹部研修
		技術 委員会	神崎理事	<ul style="list-style-type: none"> ・<技術全般> ・見積条件書（書式）作成 ・CAD担当者業務負担軽減
	WG	女性活躍促進 検討WG	大竹理事	<ul style="list-style-type: none"> ・<女性活躍促進対応全般> ・女性活躍PR（映像作成）
		特定技能外国人 受入検討WG	西村理事	<ul style="list-style-type: none"> ・<外国人受入対応全般> ・外国人就業実態調査
		無線式クレーン 免許対応WG	渡辺理事	<ul style="list-style-type: none"> ・無線式クレーン免許対応検討
				<ul style="list-style-type: none"> ・高力ボルト ・新設WG

「全構協・青年部会 意見交換会」意見・要望 整理シート(テーマ・項目別) 総括表

質問内容	項目、分野	都道府県	意見、要望
1. 現在及び今後の県及びブロック単位の青年部会の活動状況と課題	① 事業内容 (テーマ、活動内容・方法)		<p>各県では、テーマ・対象等を含め工夫しながら、魅力ある業界創りに向けて、特色のある活動を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・連携：ブロック・地域連携、親会と連携・協業、JASCA等他団体、異業種交流 ⇒ 連携、横の繋がり、絆創り ・テーマ：技術(品質)分野、経営分野、業界(FAP)PR活動、労働環境(働き方改革) ⇒ 具体的テーマ：人材確保・育成、教育・研修、業界PR、生産性アップ、BIM 働き方改革、女性参加、外国人労働者(技能実習生) 経営の志、不況への対応、経理力アップ <p>他地区の活動内容を確認し、自分の地域で活かせる内容があれば、参考にして頂きたい。</p>
	② 課題、悩み		<p>青年部会の高齢化、人数減もあり、青年部活動が弱体化？(難しい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、青年部会員減少(会員数確保問題) ・青年部活動への理解、意識低下(温度差)、実務との調整 ← 青年部としての独自の活動(親会との区分・機能分担)
2. 今後の人材確保と人材育成・教育について (1)人材確保	① 人材確保対応・施策	北海道 秋田、愛知、岡山、広島、愛媛、沖縄 和歌山 富山 宮城、石川 山形、栃木、埼玉、福井、熊本 長野	<p>働き方改革に則った採用条件を明確にし、学生、学校が何を求めているのかを理解し条件を設定。</p> <p>休日数・残業時間・賃金・職場環境・福利厚生の充実等、労働環境の見直し・改善。</p> <p>キツイ、汚いでも稼げる業種になる様な体制・仕組み作り。</p> <p>全国、各ブロック・各県で、合同説明会やインターンシップ等を開催、女性や中途採用者などをターゲット。</p> <p>外国人労働者採用情報、雇用状況</p> <p>女性活躍(女性受入の環境整備)、外国人労働者(技能継承問題有)、高齢者雇用</p> <p>入職者数と離職者数を調査し離職者の割合を減らす、離職理由も調査。</p>
	② 業界PR、イメージアップ	奈良、山口 宮城、茨城、静岡、鳥取、高知 滋賀、島根	<p>若年層、学生に業界のことを分かりやすく伝えるための資料の提供。</p> <p>イベントなど業界PRをして、まずは我々の仕事に興味を持ってもらう、継続的な情報発信。</p> <p>3Kには3Kの魅力がある、その魅力(物作りの満足感、達成感)を若者にも理解して貰う。</p>
2. 今後の人材確保と人材育成・教育について (2)人材育成	① 新人教育	京都、沖縄 長野 香川	<p>新入教育は、実際の溶接作業の手順など、動画でわかりやすくマニュアル化、基本マニュアル。</p> <p>専門用語集</p> <p>何社かが合同で新卒者教育(新入社員教育)を行うプログラム(システム)。</p>

「全構協・青年部会 意見交換会」意見・要望 整理シート(テーマ・項目別) 総括表

質問内容	項目、分野	都道府県	意見、要望
2. 今後の人材確保と人材育成・教育について (2)人材育成	② 後継者、教育システム	北海道 秋田、徳島、佐賀 福島、山梨 大阪 岩手 富山 新潟、山口 鹿児島 埼玉、石川、兵庫、和歌山 青森 三重 鹿児島	後継者育成は、以前行っていた若手経営者研修のようなものが勉強になる、横との連携も。 技術者・技能者育成のマニュアルの作成や研修会、技術共有、熟練工技術の継承。 実作業の講習会、自社のみの教育は困難、補助金制度を充実、職業訓練の利用。 技能習得のための学校、年間通じて財務及び経理を勉強の題材にした教育。 2年前に行われた経営力向上研修会。大変好評。 原価管理実践講習会、経営力向上研修会 日本溶接構造専門学校と協力 宮崎県立産業技術専門校 本当の意味での資格取得、資格保持することの付加価値、管理資格は国家資格に。 人材確保は必要不可欠だが、現在いる社員の教育・知識向上も進めていかなければいけない。 社内での教育の必要性 事業継承
3. 業界の発展に向けて、今取組むべき課題	<具体的な課題>	北海道、長崎 北海道、埼玉、愛知、島根 栃木、群馬、岐阜、愛媛、熊本 福島、岐阜 東京、宮崎 新潟 岐阜、兵庫 滋賀	建方直前の図面の変更修正対応に頭を悩ませる場面が多い。 設計事務所に対しても現状をわかつていただける機会を作るなど必要、働き方改革に逆行。 給与待遇の改善、対等な契約取引の確保、工程の契約への反映、請負金額適正化 資格の増設などの要件が品質向上につながっているのか、資格取得負担増大。 ボルト問題、海外製ボルトの緊急輸入、海外製ボルト使用の為の情報提供及び発信。 鉄骨の可能性をテーマに、新製品、自然災害用の耐震補強工法、豪雨防護柵などを検討。 CAD、BIM、先端技術(AI、ロボット、VR、5Gなど) 最新機器にかかわらず、設備導入の補助金制度。
	<業界の地位向上>	山形、長野 福島 茨城、大分 栃木、東京、佐賀 岡山 福井 神奈川、山口	当業界だから果たせる役割、5年後、10年後(中・長期計画)はどのような業界になっているか? 他構造のアピールより鉄骨造は遅れをとっている。 業界として(PR)ドラマを制作、CM (全青会)PR映像、全構協にはこの事業への継続的協力をご検討頂きたい。 鉄骨業の名称の確立 全国規模での情報交換や市況報告 仕事量が減った場合の対策を業界全体の課題にしてはどうか、不況時対応。